ニセコで、人生の新たな彩りを

NISEKO reinvigorates your passion for life.

－ ニセコ観光圏整備計画 －

2024 － 2028

蘭越町・ニセコ町・倶知安町

目次

はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

1　基本的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

（1）ニセコ観光圏の区域 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

数字で見るニセコ観光圏 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

（2）滞在促進地区の区域 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

（3）ニセコ観光圏整備事業の実施体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

（4）ニセコ観光圏整備計画の目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

（5）計画期間等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

（6）住民その他利害関係者の意見反映措置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・18

（7）地域住民の観光地域づくりに対する意識啓発と参加促進を目指すための取組

2　観光旅客の来訪及び滞在促進に関する基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・19

3　ニセコ観光圏整備事業の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

4　ニセコ観光圏協議会に関する資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

5　社会資本整備等その他計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

6　参考資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30

はじめに

本計画は、観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律（平成 23 年８月 30 日法律第 105 号）第５条に基づいて設置されたニセコ観光圏協議会における協議を経
て、同法第４条による観光圏整備計画として、蘭越町、ニセコ町、倶知安町が共同して作成したものである。

1　基本的事項

（1）ニセコ観光圏の区域

① ニセコ観光圏の区域

本計画においては、北海道後志総合振興局管内の蘭越町、ニセコ町、倶知安町の３町を区域として、ニセコ観光圏を形成する。

●蘭越町

後志管内の南西部に位置し、周囲はニセコ連峰等の山岳に囲まれた盆地を形成しており、町の中央を通算 20 回の清流日本一を誇る尻別川が貫流し、日本海に注いでいる。そのため、尻別川はもとより支流のペンケ目国内川やパンケ目国内川などが北海道を代表するフィッシングポイントとなっており、アメマスや大型のトラウト系、また、毎年６月１日に解禁されるヤマメなどを狙って多くの釣り人が訪れている。自然を生かしたキャンプ場やファミリー向けのコテージが備えられ、どの年齢層でも楽しめる憩いの場所となっている。近年ではチセヌプリが「奥ニセコ」と称され、自然地形をそのまま活かしたゲレンデが擁するパウダースノーが多くの外国人観光客を魅了している。

また、尻別川がもたらした肥沃な土壌と温暖な気候条件の下で営まれる稲作を中心とした農業が基幹産業で、ブランド米として名高い「らんこし米」を産出する北海道内指折りの米の産地として名声を得ている。

また、ニセコ町と共に国民保養温泉地「ニセコ温泉郷」を形成する温泉郷としても有名。

●ニセコ町

ニセコ積丹小樽海岸国定公園の中心をなし、羊蹄山、ニセコ連山、昆布岳の山々に囲まれた全国有数のリゾートタウン。エリア最大の収容人数を誇る世界ブランドのヒルトンニセコビレッジをはじめ、自然豊かなテントサイトからリッツカールトンリザーブなどのハイブランドホテルまで多様な宿泊ニーズに対応できる。町の産業の大きな柱を担っているのは観光で、冬は、北海道の中でもトップクラスの積雪と世界有数のパウダースノーと形容される雪質、スケールの大きなゲレンデ、ほぼ半年近いシーズンの長さ等の特徴を誇るスキーをはじめとしたスノースポーツの一大拠点として海外も含め多くの人々が訪れる。近年は、夏の登山やハイキングに加え、乗馬、釣り、ラフティング、カヌーなど恵まれた自然環境のもとでの多様なアウトドアライフが人気を呼び、通年観光化が大きく進んでいる。さらに、町の観光協会が日本で初めて株式会社化し、ニセコの魅力を一層活かすための観光開発に向けて様々な取り組みが進められている。

基幹産業のもう一つの柱である農業では新鮮な牛乳を利用したソフトクリームやチーズをはじめとした乳製品が人気。また、馬鈴薯をはじめ、米、スイートコーン、カボチャ、メロン、トマトなど多種多様な農産物の宝庫であり、道の駅「ニセコビュープラザ」の農産物直売所では、季節毎旬の朝採れ野菜を買う人々で大変な賑わいを見せている。

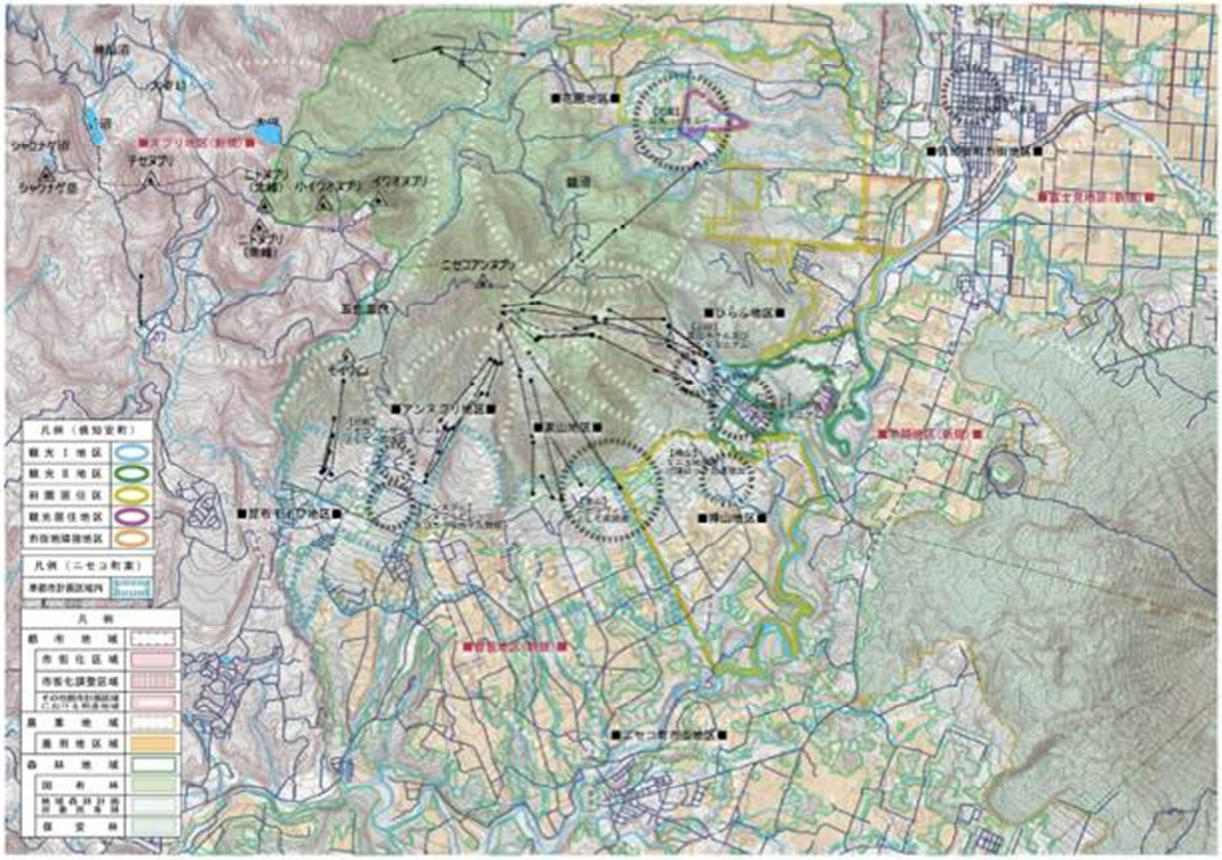
●倶知安町

「東洋のサンモリッツ」として知られる後志の中核都市。後志総合振興局をはじめ各官公署・施設も多く後志の中心地でもある。南に羊蹄山、西にニセコアンヌプリを擁しており、羊蹄山の高山植物群生地は天然記念物に指定されている。町の産業は、農業と観光が柱で、農業は肥沃な農地が拓けているなか、馬鈴薯、水稲、ビート、小豆などが主要作物で、中でも、昼夜の寒暖の差が良質のでんぷん質を作りあげる男爵いも「くっちゃんじゃが」は、生食用男爵いも日本有数の生産量を誇り、味・品質とも全国的に有名である。

観光では、ニセコ最大規模のニセコ東急グラン・ヒラフとパークハイアットニセコ HANAZONO が立地するニセコ HANAZONO リゾートという２つのスキー場を舞台に世界有数のパウダースノーと形容される雪質のほか、スキー場エリアのレストラン、カフェ、バー、居酒屋、温泉などアプレスキーの多彩さが、世界各地からスキーヤー・スノーボーダーが来訪する理由となっている。近年では、ジップライン、ツリートレッキング、マウンテンライツ、ラフィテング、登山、沼めぐり、テニス、ゴルフ、自転車など多様なアクティビティメニューから冬だけではない通年型リゾート地としての変化を遂げている。また、ニセコひらふ地区に集中するコンドミニアムは長期滞在に適しており、夏の避暑として１ヶ月を超えるロングステイを楽しむ国内ファミリー層やアジア圏のインバウンドが増加している。

加えて、2019 年 10 月にはニセコ HANAZONO リゾートで G20 観光大臣会合が開催され、今後は北海道新幹線札幌延伸や後志道の開通がひかえるなど、さらに世界中から注目をされるエリアとなっている。

② ニセコ観光圏の特徴



ニセコ観光圏は、標高 1,308mのニセコアンヌプリを頂点に、ニセコ山系の裾野に広がる歴史・文化・産業の関係性の強い一体的な地区群によって構成される。

当観光圏域の最大の特徴は、まず多くの海外スキー場来訪経験を持つ訪日スキーヤー・スノーボーダーをして「世界有数のパウダースノー」と言わしめるバックカントリーに代表される冬の魅力・訴求力にある。日本海側から吹く風により、適度に湿り気のある雪により浮遊感のあるパウダースノーの恵みが生み出され、このパウダースノーを求め、多くの滑り手が訪れている。

パウダースノーを有するリゾートは他にもあるが、当観光圏域がパウダースノーを、世界中から人々を惹き付ける魅力となしえたのは、パウダースノーを求めてゲレンデ滑走したいという欲求と、安全確保を両立させる仕組みを創出したことにある。これが「ニセコルール」である。ニセコ観光圏を代表するスキー場とその関係者達は、滑り手の「滑る自由」と、事故防止の観点を両立させたスキー場のエリア外滑走ルール「ニセコルール」を創設し、一丸となってその安全確保のための活動を続けているのである。このことは、ニセコ観光圏の最大の魅力である冬の観光を力強く支えており、他の地域には無い魅力の醸成につながっている。

このように、当地域の良質なパウダースノーと、それを求める滑り手の安全確保のための活動は、国内はもとより世界各国から誘客する誘因となった。当地域における外国人の宿泊延数は、ピークとなった平成 30 年度で 683 千人泊となり、北海道内で札幌市（3,605 千人泊）、函館市（691 千人泊）に次ぐ規模となっている。平成 15 年度の外国人宿泊延数は約 37 千人泊で、これに対し実に 18.3 倍と順調にその数を伸ばしてきた。しかし、令和元年度の冬に始まった COVID19 ウィルスによる世界的な感染症の流行（パンデミック）という未曽有の事態は日本をはじめとした各国で渡航が大きく制限され外国人旅行者で盛り上がってきた観光関連事業者は大きな打撃を受け、その影響は令和 4 年度まで深刻な状況が続いた。令和 4 年度の下期になってようやく渡航制限が全面的に解除され、幸いにもウィンターシーズンが主たる観光シーズンであるニセコ観光圏においてはインバウンドの再開に

より急激な需要回復を迎えることができたものの、現在でも全てがコロナ前の状況に回復できているとは言えない状況が続いている。

外国人観光客の増加とともに海外からの投資が盛んに行われていることも当地域の特徴のひとつである。特に世界ブランドのホテルやコンドミニアムについては、海外からの投資により建設・取得された物件が多い。これらの物件は、欧米基準のサイズやデザインを持ちつつ、和の様式を取り込んだ物が多く、海外にも類を見ないニセコならではのリゾート様式を生み出しつつある。また、海外リゾートで広く普及しているコンドミニアムが、ニセコのように数多く集積している地域は国内で他に例が無い。倶知安町ニセコひらふ地区が平成 21 年から令和 3 年まで 13 年連続で地価上昇率全国一位となり、関連する事業(例：コンドミニアムの管理サービス、長期滞在者向けサービス)の集積が進むなど、国際化を軸とした観光による地域経済の成長が続いている。また、これら世界ブランドのホテルやペンション群だけでなく、高度成長期以降、わが国を代表する山岳リゾートとして発展してきた本地域には、自然豊かなテントサイト、個性豊かなペンション群が集積しており、近年の環境変化に合わせて、それら既存施設のリノベーションも進み、既存事業の活性化にも繋がっている。

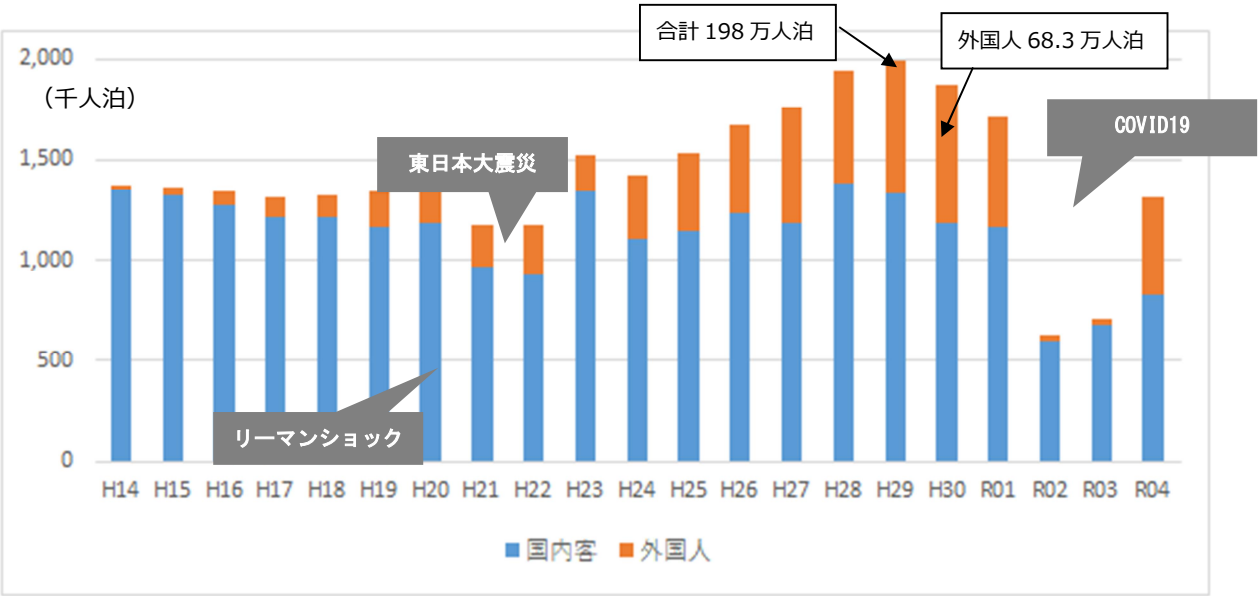
グリーンシーズンは、ホワイトシーズンほどの集客には至っていないものの、ラフティングやフィッシング、サイクリング、ゴルフといったアウトドアアクティビティの各種コンテンツが豊富であり、修学旅行生の受入や、国際的なスポーツイベントの開催も増加しつつある。特に修学旅行はコロナ感染症による移動や渡航の制限がある中で国内への振り替え、比較的広い空間で「密」を気にせず屋外型のアクティビティ需要に応えることができたこともあり、当初の目的地から代替地として支持され、その需要が定着しつつある。

ニセコ観光圏では、これら様々なコンテンツのブラッシュアップと国内外の垣根を越え、地域の連携による一体感の醸成によって、冬だけではない、四季を通じたニセコブランドを国内外に定着させるために、観光圏を形成している。

数字で見るニセコ観光圏

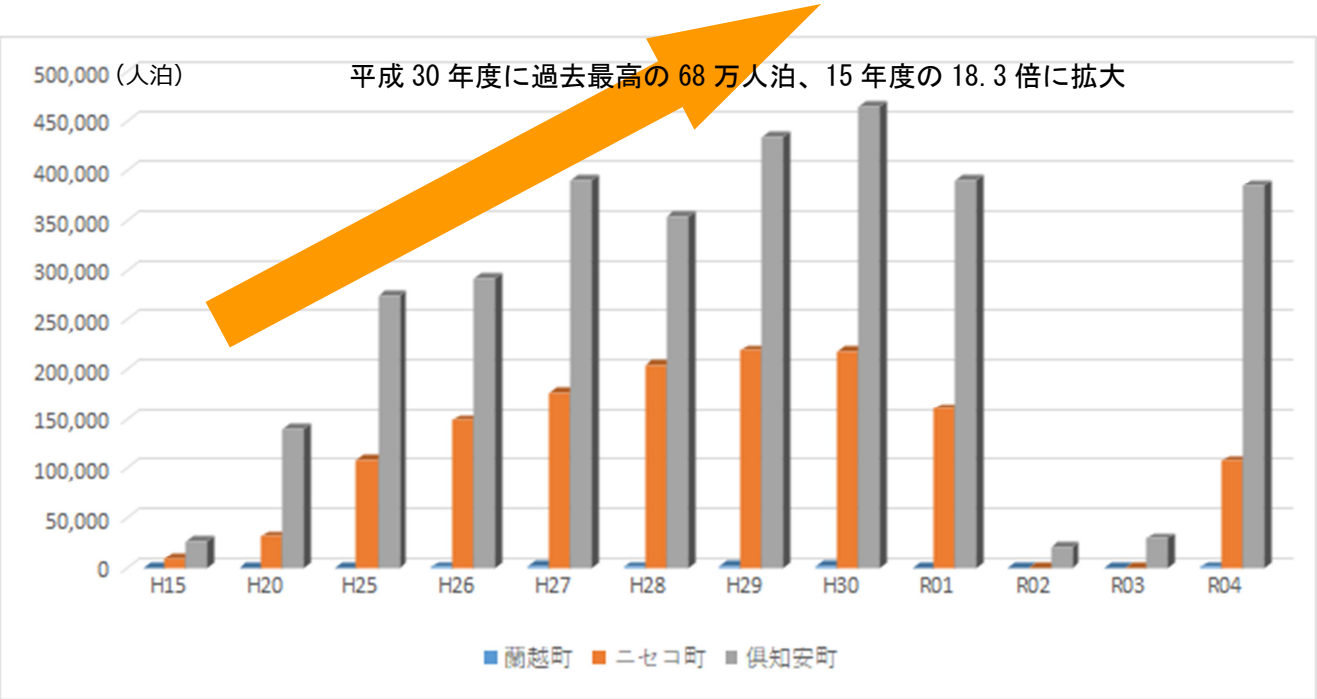
Ⅰ　増え続ける外国人観光客（国内・国外別延宿泊数の推移）

延宿泊数（全体）は H29 年度、うち外国人は H30 年度過去最高を記録



（出典：北海道観光入込客数調査報告書）

Ⅱ　外国人観光客が激増（外国人延宿泊数の比較）



（出典：北海道観光入込客数調査報告書）

■国別ランキング

令和元年度

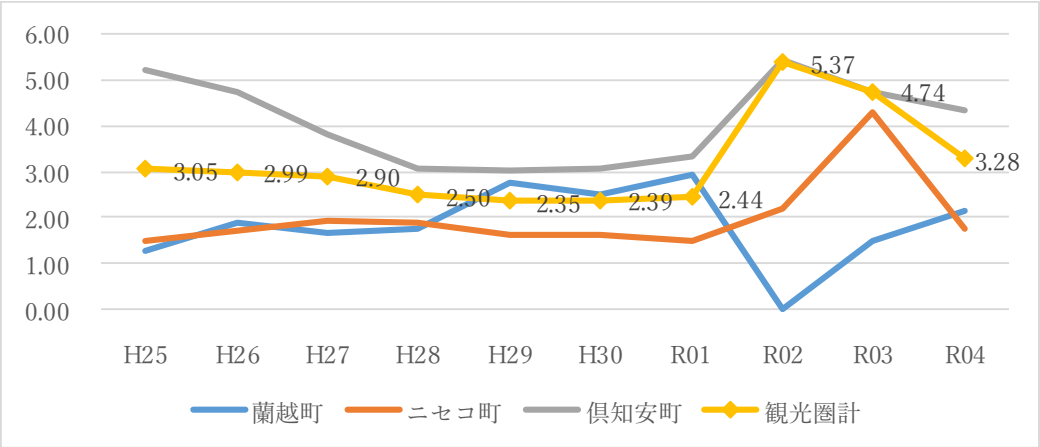
順位	国名	宿泊延数
①	オーストラリア	108,306
②	中国	102,742
③	香港	78,785
④	シンガポール	49,815
⑤	アメリカ	39,196

令和４年度　（人泊）

順位	国名	宿泊延数
①	オーストラリア	86,989
②	香港	68,162
③	シンガポール	52,442
④	アメリカ	40,835
⑤	タイ	21,052

Ⅲ　外国人来訪者の平均滞在日数の推移

■外国人来訪者の平均滞在日数の推移



（出典：北海道観光入込客数調査報告書）

③ニセコ観光圏の現状と課題

ア）地域の強みと弱み（ＳＷＯＴ分析）

S（Strong）強み

- パウダースノーに代表される自然資源が豊富
- 新千歳空港や札幌・小樽から近いという立地条件の良さ
- 多様な人材の豊富さ
- 外国人観光客の入込数が多い
- 地域個性が多様なことで観光客にとって選択肢が広がっている
- 魅力的な世界中の食材が集積されている
- 大型スーパー、飲食店街があるため観光客が地域の人たちと交流する機会が多い
- 農業が基幹産業であること、日本海が近いことによる豊富な食材、農業をプラスした体験型メニューが豊富
- 様々な泉質、旅館からリゾートまで多様な施設がある温泉
- 豊富なアクティビティあり、長期滞在に寄与している

W（Weakness）弱み

- 連携した地域資源の管理、連携したガバナンス（共治）が弱い
- マーケティング（誘致受入）の展開が脆弱
- 圏域内の交通体系が貧弱
- 高速交通網の未整備
- 圏域全体では通年集客があるが区域によっては季節によって偏りがある
- 宿泊情報のワンストップサービス
- 外国での知名度は高いが国内での知名度はさほど高くない
- 恒常的な人手不足
- 夏季と冬季の繁閑差による不安定な雇用体系
- MICE のワンストップサービスの受け皿の不足
- 北海道内の建設単価の極端な高騰

O（Opportunity）機会

- 世界市場がニセコに関心を寄せている
- スローライフ、エコ、LOHAS など健康への関心の高まり
- 個人旅行の増加による旅行の多様化とニーズの多様化
- 高速交通網（高速道路・北海道新幹線）の着工決定
- 避暑のためにロングステイする国内富裕層シニアの存在
- マラソン・自転車など外国人のライフスタイル（趣味）が日本人に定着しつつある
- 大型施設の投資
- G20 観光大臣会合開催による国際的な認知度の向上、MICE 市場への PR

T（Threat）脅威

- 他地域との競争の激化
- 国内の人口減少の到来
- 国内全体のスキー人口の減少

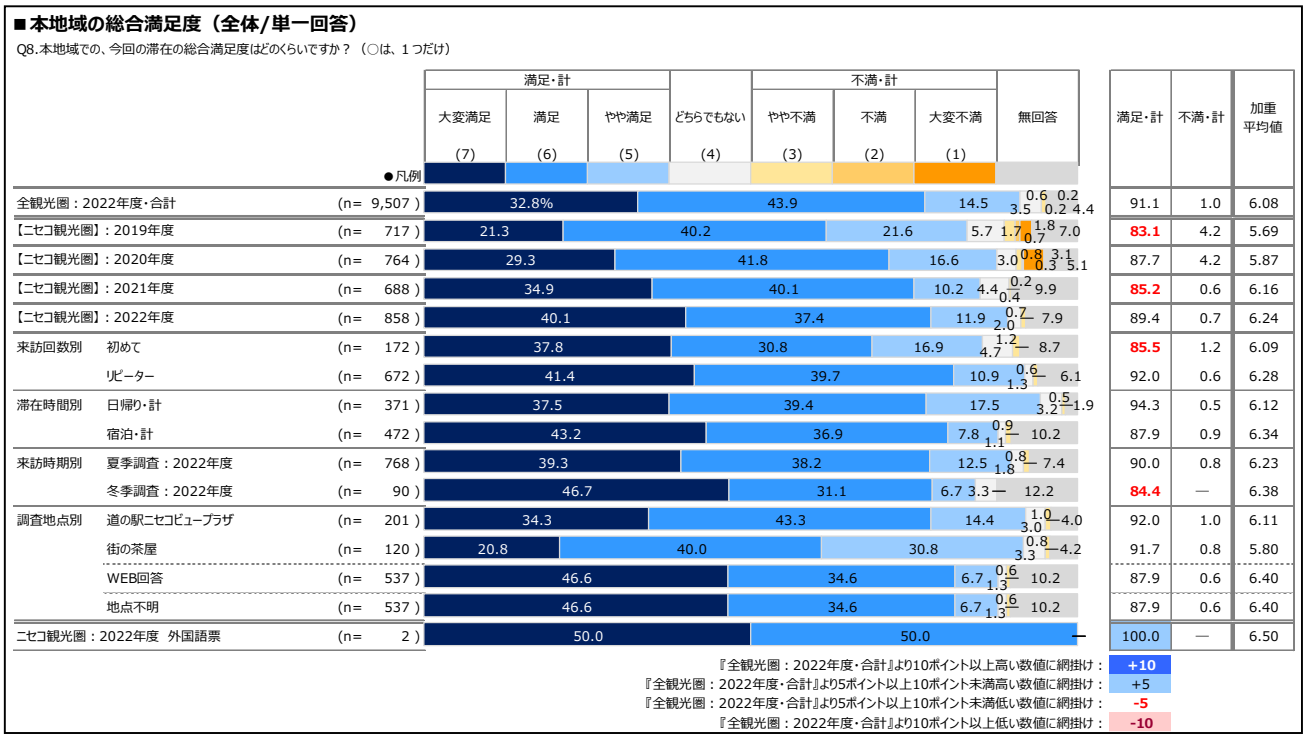
- SNS 等による風評被害等の拡大（誤った情報の拡大）
- 冬期間における飲食や生活雑貨などの価格高騰による物価上昇が生活に支障
- 地震等の災害
- 過度な投資による乱開発や景観への悪影響
- 地球規模の温暖化がもたらす影響（雪質、ウィンターシーズンの期間）
- 円安に起因した外国人労働力確保の競争力低下

イ）　満足度調査結果

ニセコ観光圏では、平成 27 年度から毎年夏と冬に、「顧客満足度調査」を行っている。その調査報告によると、ニセコエリアの観光地としての評価結果は下記のとおりである。

Ⅰ総合満足度

令和元年度から令和４年度にかけては「大変満足」の割合が毎年伸び、令和４年度には 40%を超える水準まで達した。コロナ影響で観光客が少なく通常とは異なる環境下での調査となったため、反動も含め今後の推移を注視していきたい。

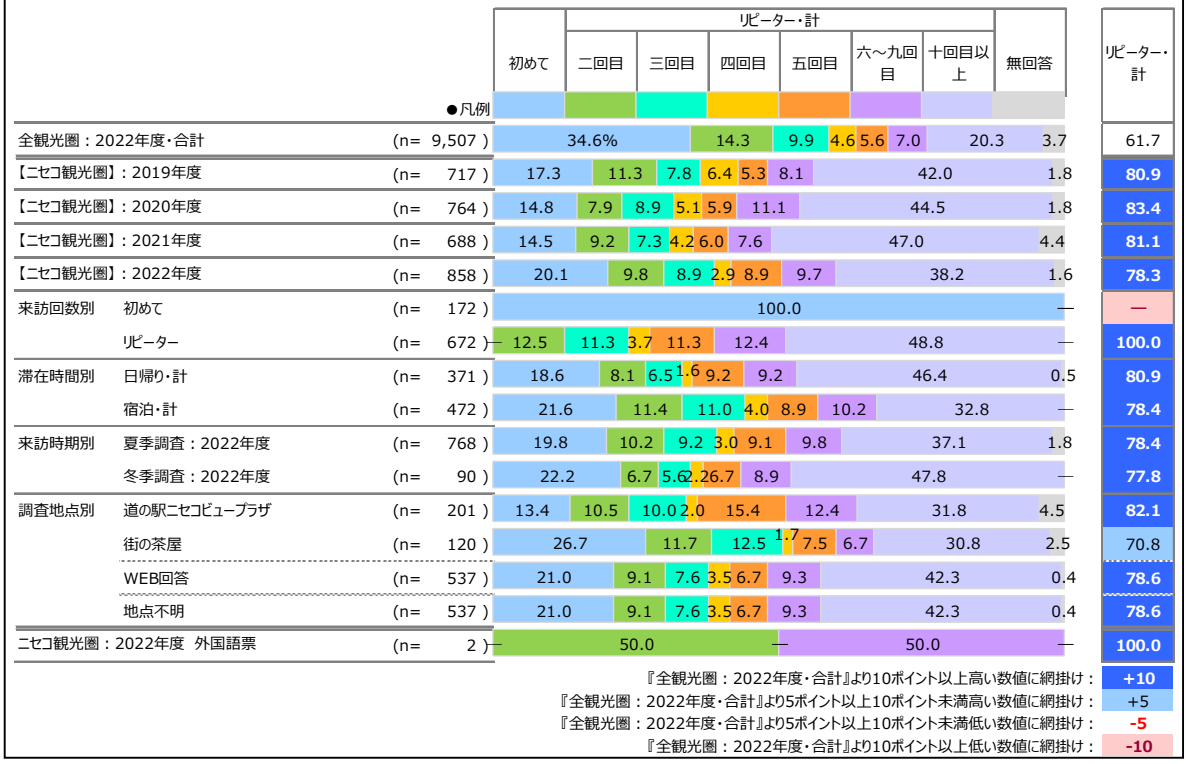


Ⅱリピーター率

令和４年度はリピーター率が 78.3%と少し下落、コロナ影響で行動が制限され近郊の札幌圏から何度も訪れる日帰り需要が押し上げたのが令和 2-3 年度の傾向と推察される。

■本地域への来訪回数（全体/単一回答）

Q6.本地域へは、今回が何度目のご来訪ですか？（○は、１つだけ）

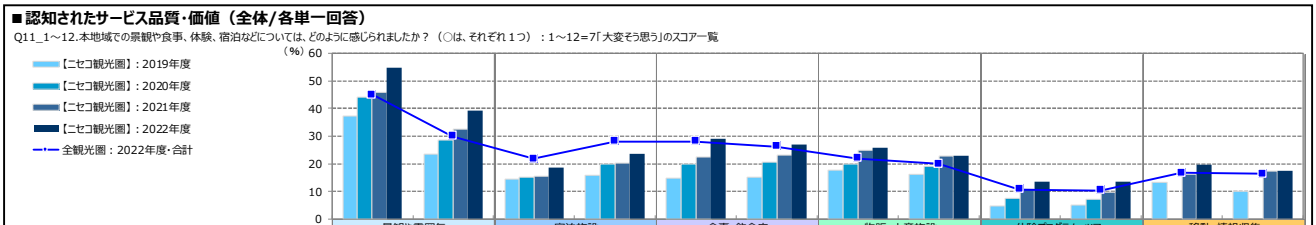


Ⅲサービス品質・価値

全体的に満足度が向上する傾向はあるものの「体験プログラム」や「移動手段」が課題となっている。オフシーズンとなる夏の観光需要の掘り起こしや長期滞在型インバウンドの満足度を上げていくためには「いろいろな楽しみ方」を提供する必要がある。

■認知されたサービス品質・価値（全体/各単一回答）

Q11_1～12.本地域での景観や食事、体験、宿泊などについては、どのように感じられましたか？（○は、それぞれ１つ）：1～12=7「大変そう思う」のスコア一覧



		調査数	景観や雰囲気		宿泊施設		食事・飲食店		物販・土産施設		体験プログラム・ツアー		移動・情報収集	
			自然景観や雰囲気が感じられた	街並みの景観や雰囲気が感じられた	宿泊施設のコストパフォーマンスがよい	宿泊施設で従業員の対応がよかった	食事の味やボリュームがよかった	飲食店従業員の対応がよかった	この地域ならではの土産品が手に入った	土産店従業員の対応がよかった	体験プログラムやツアーの内容がよかった	体験プログラムやツアーのガイドがよかった	地域内の移動が快適だと感じた	地域に行ってから容易に情報収集ができた
全観光圏：2022年度・合計		9,507	45.0	29.9	21.9	28.1	28.1	26.4	21.9	19.9	10.8	10.3	16.7	16.5
【ニセコ観光圏】：2019年度		717	37.2	23.4	14.4	15.9	14.9	15.3	17.7	16.5	4.6	4.9	13.3	10.0
【ニセコ観光圏】：2020年度		764	44.1	28.7	15.2	20.0	19.8	20.7	20.0	19.1	7.5	7.3	*	*
【ニセコ観光圏】：2021年度		688	45.9	32.4	15.4	20.4	22.5	23.1	24.9	22.8	10.9	9.9	16.3	17.3
【ニセコ観光圏】：2022年度		858	54.8	39.2	18.7	23.7	29.3	26.9	26.0	23.0	13.5	13.6	19.6	17.5
来訪回数別	初めて	172	50.6	44.8	19.2	27.9	27.9	29.7	25.0	26.2	20.9	22.1	20.9	21.5
	リピーター	672	56.9	38.4	18.9	23.1	30.2	26.8	26.8	22.6	11.9	11.8	19.6	16.8
滞在時間別	日帰り・計	371	55.8	41.5	9.2	10.0	32.1	26.7	28.0	23.2	8.1	8.6	22.9	18.9
	宿泊・計	472	55.3	38.1	26.5	35.0	27.8	27.8	25.0	23.3	17.8	17.8	17.4	16.7
来訪時期別	夏季調査：2022年度	768	54.7	38.7	18.2	22.9	28.9	26.7	26.3	23.3	14.2	14.3	20.6	17.5
	冬季調査：2022年度	90	55.6	43.3	22.2	30.0	32.2	28.9	23.3	20.0	7.8	7.8	11.1	17.8
調査地点別	道の駅ニセコビュープラザ	201	53.7	40.3	10.5	11.9	27.4	21.4	24.9	19.9	8.0	7.5	25.4	14.4
	街の茶屋	120	31.7	15.0	10.0	11.7	12.5	14.2	25.8	22.5	9.2	8.3	13.3	12.5
	WEB回答	537	60.3	44.1	23.7	30.7	33.7	31.8	26.4	24.2	16.6	17.1	18.8	19.7
	地点不明	537	60.3	44.1	23.7	30.7	33.7	31.8	26.4	24.2	16.6	17.1	18.8	19.7
ニセコ観光圏：2022年度 外国語票		2	50.0	—	—	—	100.0	50.0	50.0	50.0	—	—	—	—

「*」は該当項目なし

+10 ：『全観光圏：2022年度・合計』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5 ：『全観光圏：2022年度・合計』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5 ：『全観光圏：2022年度・合計』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け
-10 ：『全観光圏：2022年度・合計』より10ポイント以上低い数値に網掛け

（２）滞在促進地区の区域

① 区域設定

ニセコ観光圏の滞在促進地区を以下の通り設定する。選定にあたっては、観光宿泊施設の集積があり、滞在促進事業に積極的に取り組む地区としている。圏域全体は広いが、それぞれの地区は温泉郷なども古くから形成されており、近年のコンドミニアム型の宿泊施設と日本伝統の温泉施設とを共に楽しむことができる宿泊滞在型観光地として、国内外からの観光客にとって魅力ある国際リゾート観光地となることを目指す。

●主たる滞在促進地区

ニセコアンヌプリ山頂から放射状に広がる４つのスキー場（ニセコＨＡＮＡＺＯＮＯリゾート、ニセコ東急グラン・ヒラフ、ニセコビレッジスキーリゾート、ニセコアンヌプリ国際スキー場）と、隣接するモイワ山のニセコモイワスキーリゾートが、ニセコ観光圏の中心基盤であることから、このニセコアンヌプリとモイワ山の裾野に広がるスキー場エリアを＜主たる滞在促進地区＞とする。

●滞在促進地区

ニセコ観光圏のもうひとつの主たる基盤は、「奥ニセコ」と称される多様な温泉郷が集積しているエリアである。ニセコアンヌプリとイワオヌプリの中間に位置している五色温泉郷と、ニセコ連山の山懐に隠れるように点在している湯本温泉と新見温泉は、なかでも、奥ニセコと称されるにふさわしい。また、昆布温泉、湯の里温泉、昆布川温泉、ゴルフ場やキャンプ場などの滞在環境資源も含め、ニセコ観光圏のもうひとつの顔である秘湯エリアを＜滞在促進地区＞とする。

●交流地区

倶知安町、ニセコ町、蘭越町の市街地とその周辺には、地域住民と来訪観光客の交流を図る様々な施設や資源が存在している。なかでも、三町の市街地は、ニセコ山系と羊蹄山の裾野を流れる尻別川流域に位置し、地形や気象にもとづく自然循環の大きなステージを形成しているだけでなく、鉄道や国道など公共交通網による連携・交流ネットワークの基盤となっている地区である。

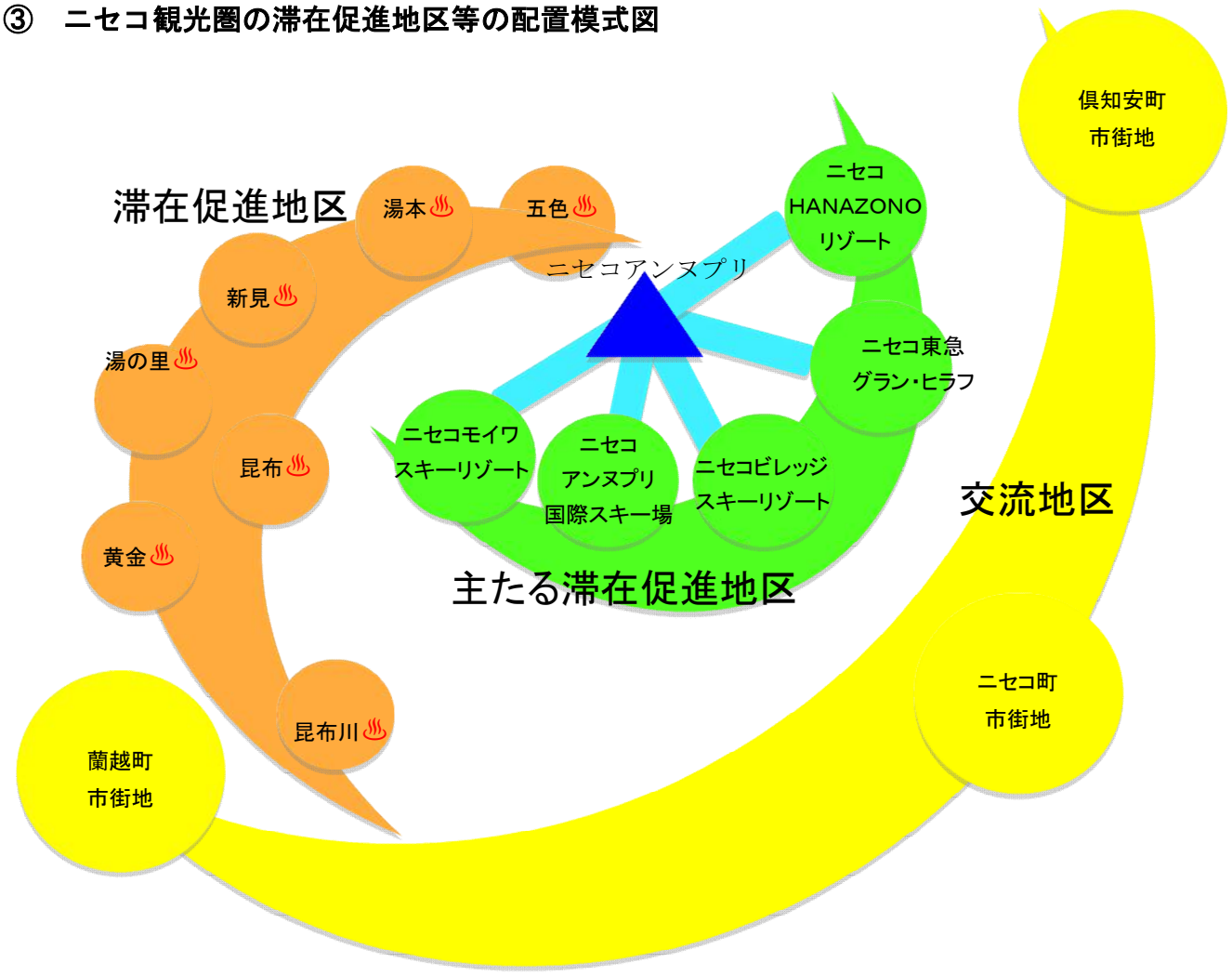
滞在促進地区の区域	区 域 の 詳 細	観 光 圏 の 区 域
●主たる滞在促進地区		
ニセコアンヌプリ山麓地区	花園・ひらふ・東山・アンヌプリ・藤山	倶知安町・ニセコ町
●滞在促進地区		
奥ニセコ・昆布川地区	五色温泉・湯本温泉・新見温泉・黄金温泉・湯の里温泉・昆布温泉・昆布川温泉	蘭越町・ニセコ町
●交流地区		
蘭越町市街地区	蘭越町市街地	蘭越町
ニセコ町市街地区	ニセコ町市街地	ニセコ町
倶知安町市街地区	倶知安町市街地	倶知安町

② 選定理由

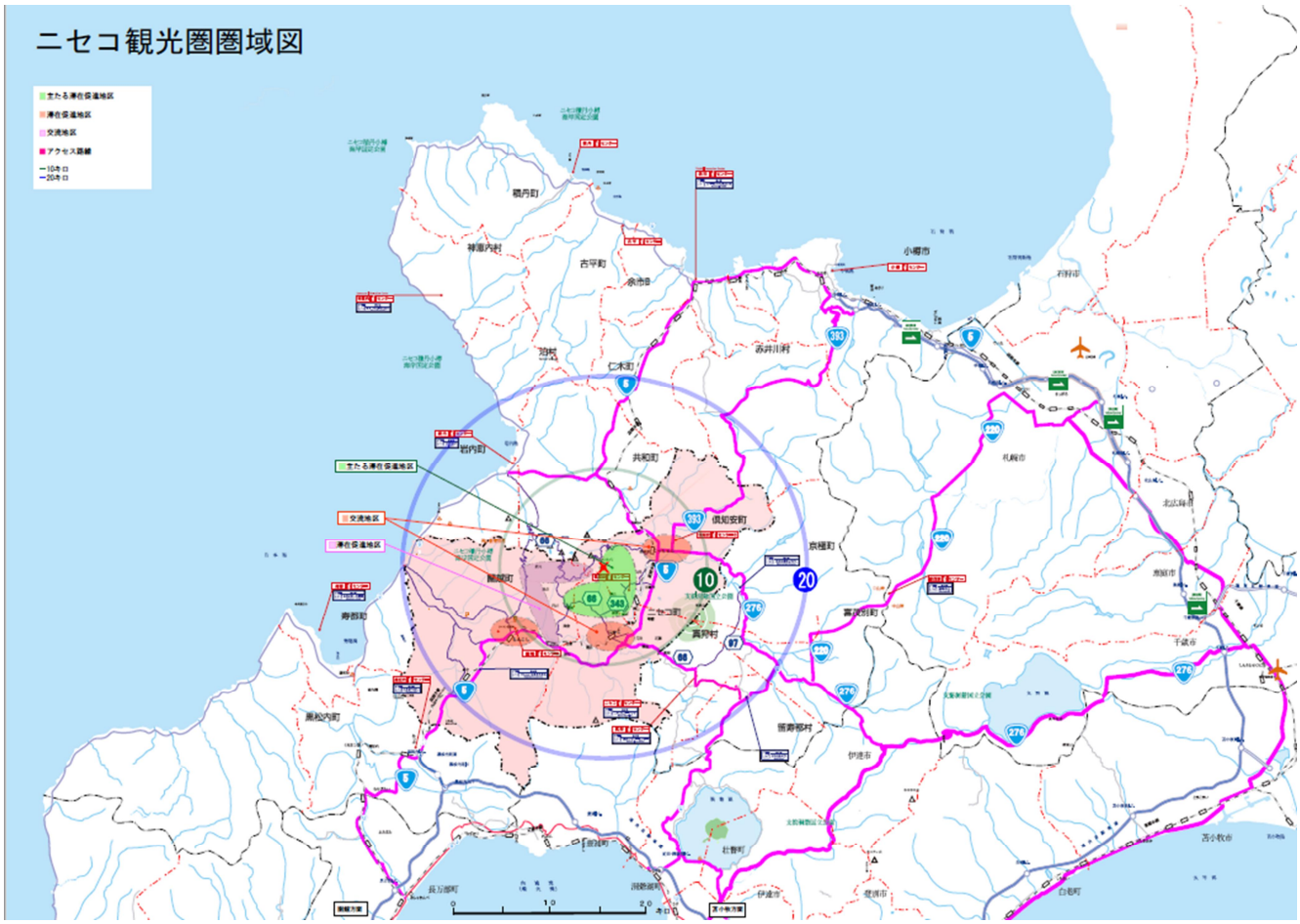
滞在促進地区の区域	宿泊施設数	選　定　の　理　由
【主たる滞在促進地区】 ニセコアンヌプリ 山麓地区	603	秀峰ニセコアンヌプリの麓に広がる、圏域最大の収容人数を誇る主たる滞在促進地区。「パウダースノーの聖地」として、冬は国内はもとより、多くの外国人スキーヤーやスノーボーダーが集う。世界ブランドのヒルトンニセコビレッジやパークハイアットニセコ Hanazono レジデンスなど多くのコンドミニアムホテルが通年で１週間以上のロングステイ観光客の受け皿となっている。多様なアクティビティメニューを提供するアウトドアスポーツ会社やレストランなどが集積している。一方、当該地区は広大な農産物生産の大地が広がり、北海道らしい景観を楽しめると共に、地元食材を使用した料理、スイーツが豊富に揃い、リピート観光客が多い地区。
【滞在促進地区】 奥ニセコ・昆布川地区	35	奥ニセコ地区は、国民保養温泉地「ニセコ温泉郷」を代表する泉質豊富な泉源を誇る温泉地帯。チセヌプリの南麓に大湯沼があり、周囲約 200 メートルの湯面には「黄色球状硫黄」が浮遊し、学術的にも貴重な資源となっている。また、アンヌプリ、イワオヌプリ等の登山口を擁するほか、大小の湖沼を巡るトレッキングコースの出発点などニセコ山系の玄関口となる地区。五色温泉郷には地元アウトドア会社が指定管理する「五色温泉インフォメーションセンター」を擁し、春から秋にかけて、登山客などにきめ細かな情報提供を行っている。ニセコ観光圏のなかでも一番高い標高に位置しているため、眼下に広がるニセコエリアのパノラマ景観は観光客に感動を与えている。 昆布川地区は、国民保養温泉地「ニセコ温泉郷」を形成する地域のひとつ。美人湯温泉として有名な「幽泉閣」を始め、味わい深い温泉郷が多い地区。また、エゾ富士と呼ばれる羊蹄山やニセコ連峰のすばらしい景観を誇るサヒナキャンプ場、アーノルドパーマーが設計を手がけたニセコゴルフコースなどがあり、アウトドアキャンプやゴルフが楽しめる地区。
【交流地区】 倶知安町市街地区	42	国道５号・276 号、道々478 号線が市街地を通過し、ＪＲ倶知安駅などニセコ観光圏の玄関口である。当該地区には、すし店、居酒屋、レストランなどの飲食店が 100 店舗以上あるほか、大型スーパーマーケットが３店舗あり、コンドミニアム型宿泊施設が多いアンヌプリ山麓地区に滞在する観光客の買い物など長期滞在者の生活の受け皿として、また地元の人たちがふれあい、交流がうまれる地区でもある。

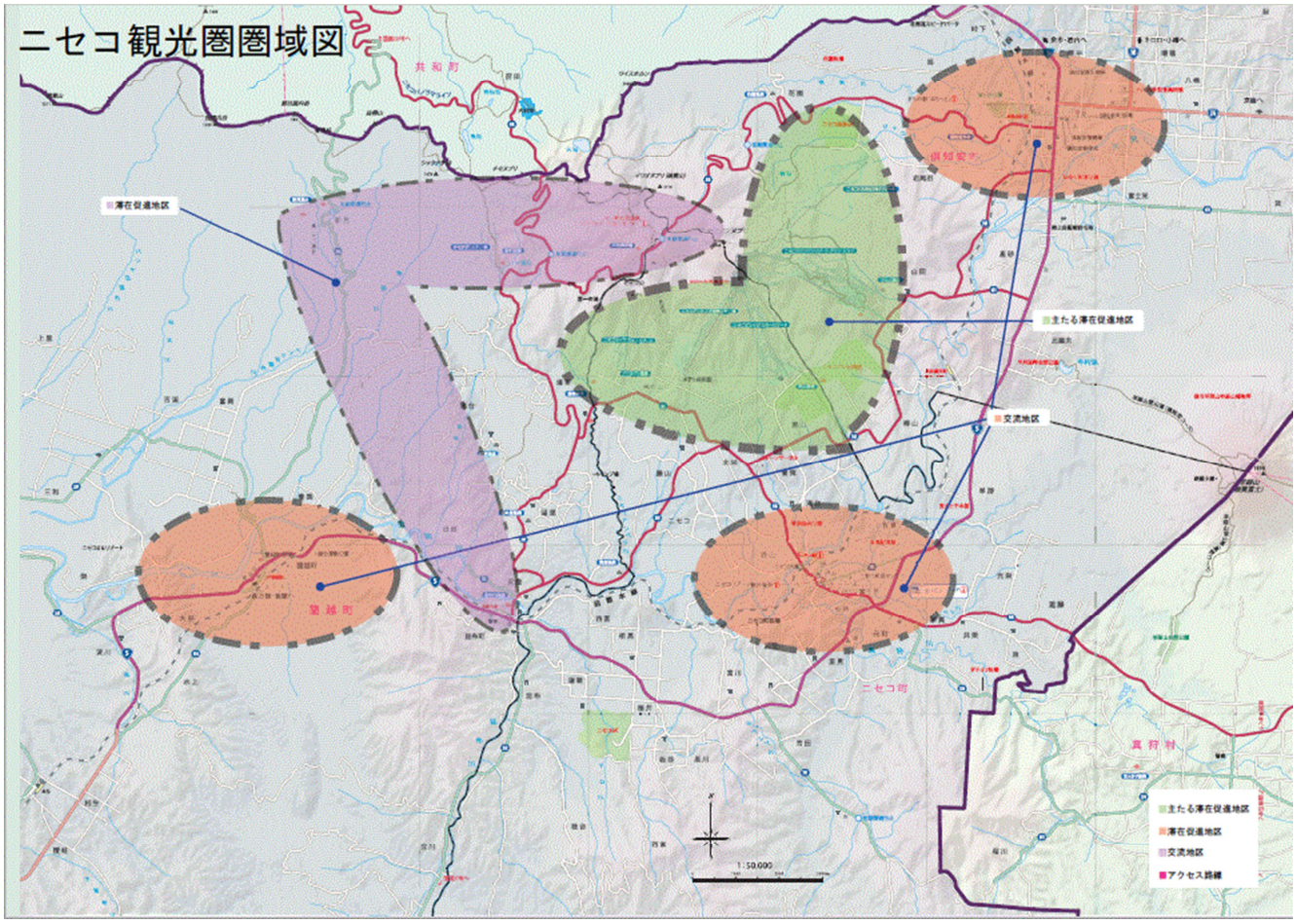
【交流地区】 ニセコ町市街地区	12	駅前には、ニセコ駅前温泉・綺羅乃湯や、また地域の情報発信基地としてコミュニティＦＭ「ラジオニセコ」を擁する。また、地元新鮮野菜の直売施設がある道の駅ニセコビュープラザは、１年を通して賑わい、来訪者と地元民との密接な交流の場となっている。また、自然エネルギーを活用したニセコ町民センターでは、海外のコンベンションや地元外資系企業の社員研修の場にも活用され、小さいながらもＭＩＣＥの拠点となりつつある。この他、外国人住民が多い圏域のため、インターナショナルスクールも進出しており、当校が実施するシーズナルスクールは、長期滞在メニューとして注目されている。
【交流地区】 蘭越町市街地区	6	ニセコ観光圏の南麓に位置し、道南方面からの玄関口となる地区。観光圏域を縦断する尻別川が日本海にそそぐ河口部に位置することから、アメマス、ヤマベ、アユのフィッシングポイントを数多く有するほか、長い歴史を持つ温泉郷、ファミリー向けのキャンプ場、コテージなど静かな雰囲気を醸し出す地区。道内屈指の米どころであり、「らんこし米」はブランド米として有名。

③　ニセコ観光圏の滞在促進地区等の配置模式図



④ 圏域図


ニセコ観光圏圏域図
主たる滞在促進地区
滞在促進地区
交流地区
アクセス路線
10キロ
20キロ
県内町
神恵内村
古平町
余市町
泊村
仁木町
赤井川村
小樽市
岩内町
共和町
倶知安町
京極町
札幌市
北広島市
寿都町
ニセコ町
真狩村
千歳市
黒松内町
留寿都村
伊達市
豊浦町
洞爺湖町
壮瞥町
苫小牧市
白老町
長万部町
室蘭市


ニセコ観光圏圏域図
共和町
倶知安町
滞在促進地区
主たる滞在促進地区
交流地区
望羊町
ニセコ町
真狩村
1:50,000
主たる滞在促進地区
滞在促進地区
交流地区
アクセス路線

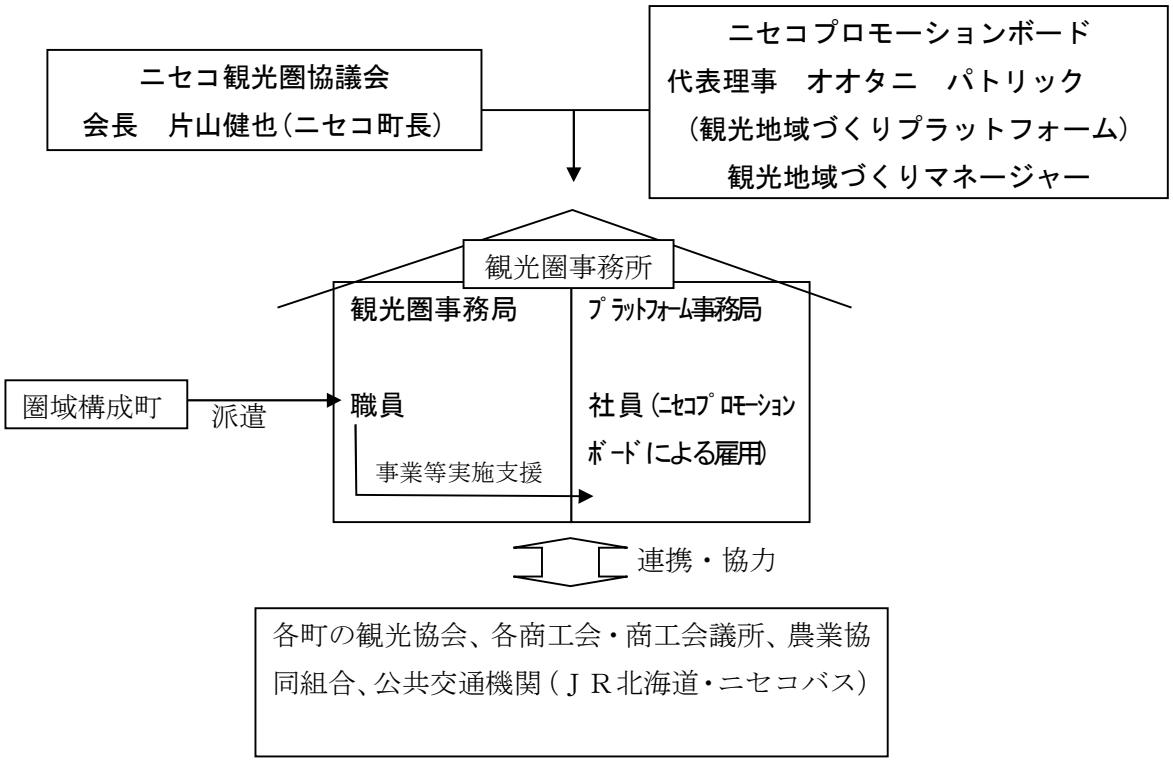
（３）ニセコ観光圏整備事業の実施体制

観光圏整備事業については、一般社団法人ニセコプロモーションボードを観光地域づくりプラットフォームに位置づけ、圏域の観光協会、行政が連携して取り進める。

① 観光地域づくりプラットフォームの概要

ア　名　称：一般社団法人ニセコプロモーションボード（英名 Niseko　Promotion　Board）
イ　所在地：北海道虻田郡倶知安町字樺山４１番地５
ウ　設立年月日：平成１９年９月７日（平成２１年６月９日変更登記：名称改正など）
エ　正会員数：317 件（令和 5 年度 12 月現在）
オ　目的及び事業内容
　Ａ．国内外における観光プロモーションに関する各種調査・研究と活動の実施
　Ｂ．観光地区プラン・インフラ整備に関わる各種調査・研究と対外要請活動の実施
　Ｃ．各種団体に対する支援と連携を促進するためのコーディネーション活動の実施
　Ｄ．地域産業に関する商品の企画・立案並びにこれに付随する行為
　Ｅ．前各号に掲げる事業に附帯する又は関連する事業

② 実施体制図



（4）ニセコ観光圏整備計画の目標

① 目標設定のねらい

後述する「将来像」をふまえ、その達成に繋がる項目として、以下の目標値を設定する。

Ⅰ　宿泊者数(人泊数)および滞在日数

当観光圏の基本的なパフォーマンスを示すものとして、宿泊者数(人泊)と平均滞在日数を国内外別に設定する。

Ⅱ　観光客の満足度およびロイヤルティ

持続的な観光振興を実現していくため、来訪した観光客が本地域の滞在に満足し、また、肯定的な意識を有しているかを満足度(CS)、ロイヤルティ(紹介意向、再来訪意向)にて計測する。

Ⅲ　観光消費額

観光振興が地域の経済振興に繋がっているかどうかを図る指標として観光消費額を設定する。

Ⅳ　住民満足度

持続可能な観光地域づくりを実現するため、地域住民が観光による地域振興に肯定的な意識を有しているかどうかを図る指標として住民満足度を設定する。

Ⅴ　環境保全に取り組む事業者数

持続的な観光振興を実現していくため、環境の維持保全に取り組む事業者数を指標として設定する。

なお、国際的なリゾートに相応しい空間、景観、インフラについての指標は、観光客および住民の満足度により取得する。

② 数値目標

ⅰ　宿泊者数(人泊数)および滞在日数

・宿泊者延数を計画最終年度までに国内客を 1,400 千人泊(現状比 70%増)、外国人客を 800 千人泊(現状比 60%増)を達成する。

・全宿泊者の平均宿泊日数を計画最終年度までに 2.0 泊、外国人客を 4.0 泊を達成する。

ⅱ　観光客の満足度およびロイヤルティ

・観光客の総合満足度について、「大変満足」率の 40%を維持する。

・観光客の再来訪意向および紹介意向の「大変そう思う」共に 45%を達成する。

ⅲ　観光消費額

・観光消費単価を計画最終年度まで、日本人 60 千円(現状比 10%増)、外国人 250 千円(現状比 25%増)を達成する。

ⅳ　住民満足度

・観光に対する住民意識(観光の地域コミュニティに与える影響)を計測し、肯定的な意識を持つ人 7 割以上とする。

ⅴ　地域一体となって取り組む資源・環境の保全と持続的活用

・地域住民、事業者と話し合う機会を年 2 回程度設けるとともに観光地域づくりマネージャーや各観光協会を通じて意見を収集し、課題解決に繋げていくことで持続可能な観光地域づくりを推進する。

（５）計画期間等

① 計画期間

計画期間は、令和 6(2024)年度から令和 10(2028)年度までとする。

② 計画の見直し・変更について

計画は、年度ごとに協議会において評価し、継続的な改善を図る。

なお、整備計画に見直し・変更があった場合は、法第４条第９項の規定に基づき、協議会の協議・承認を得て、北海道運輸局を通じて国土交通大臣及び北海道知事並びに事業実施者に送付するとともに、速やかに公表することとする。

（６）住民その他利害関係者の意見反映措置

ニセコ観光圏協議会の構成員に町内会連合会長を住民代表として加えると共に、３圏域の農業・商工業・観光業に携わる事業者目線での事業評価を行ない事業実施・事業評価に対して意見反映を行う。

（７）住民の観光地域づくりに対する意識啓発と参加促進を目指すための取組

住民参加型の研修会やイベント等の開催、活動内容の広報により地域住民の意識啓発と参加促進を目指す。

定期的に住民の観光に対する意識調査を実施することでモニターを行う。

２　観光旅客の来訪及び滞在促進に関する基本方針

（１）日本の顔となるニセコ観光圏の価値

アジア初めての国際リゾート。観光カリスマであり、ニセコの国際化のきっかけをつくった１人であるロス・フィンドレー氏（前プラットフォーム代表理事）は、ニセコをそう表現する。

わが国の観光リゾート地は、明治期の一時を除けば、豊富な国内需要、国民の余暇需要に応える事で発展してきた。リゾートとしてのニセコの歴史もまた、例外ではない。しかしながら、高度成長期、また、バブル景気期に伸長した観光需要が、90 年代後半から縮小へと転ずる中、ニセコは、オーストラリアを主体とする訪日需要によって、新たな発展ステージへと転化する。いまや、冬期間の過半は訪日旅行者によって占められ、多様な国々から多くの投資が行われ、リゾートを軸とした新たな経済圏が創造されるなど観光立国の一つの姿を提示するに至っている。

こうした海外需要の呼び込みのきっかけは、ロス・フィンドレー氏を始めたとした海外スキーヤーによって、ニセコのパウダースノーが“再発見”された事にある。もともと、北海道内他地域のスキー場も軽く乾いた雪質で道外のスキー場と比べてアドバンテージは高いが、ニセコのパウダーは特別と言われる。科学的に分析された雪質としてその特性について語られることもあるが、重要なことは、ニセコにおいて、このパウダーを存分に楽しめる環境が整備されたことにある。いくら、降雪がパウダーであっても、管理されたゲレンデだけでは、楽しむことは出来ない。しかしながら、ゲレンデ外は、安全を担保することは出来ない。ニセコでは、こうしたコンフリクトを、「ニセコルール」にて解消していく道を選択した。「ニセコルール」は、「自由に滑りたい」という共通の想いを実現するため、人と自然、ホストとゲストの関係に折り合いを付けて、コミュニケーションを通じて互いに尊重しあいながら、また協力し合いながら、生活空間至近の固有の植生を彩る白い森の世界を飛翔する自由を楽しむのである。ラフティングやコンドミニアムなど、こうした「ニセコを楽しみたい」という欲求と、安全管理や諸規制、諸制度との折り合いをつける事で創造された活動は、ニセコには数多く存在している。これは、特別の空間ではなく、あらゆる意味で普通の空間である。しかし、この普通の世界は、ここニセコにしかない、特別の自然空間である。これが、ニセコのブランドの出発点である。

そして、こうした新しい活動が、チャレンジ志向を持った若者やよそ者をニセコに集めることとなり、それが、さらなる活動を創造し、世界から観光客を惹き付けるという循環が生じさせている。こうした循環こそが、他の観光地やリゾート地とニセコの差別要素であり、魅力の源泉であると考えられる。

しかし、2019 年に突如世界中を震撼させた COVID19 による感染症は観光業界に甚大な被害を及ぼした。もちろんニセコも観光業界をはじめとして地域経済に大きな打撃を受けることとなった。既にウィルスによる制限は撤廃され海外渡航も正常化しインバウンドはコロナ前の水準に回復しつつあるが、この経験をこれから発生するリスクへの対応へと活かしていくことが重要である。また、観光の回復により直面する様々な課題は観光客だけではなく地域・地域に住む住民にとっても大きなストレスとなりうることから、ニセコを持続可能な観光地域として将来につなげていくために、より戦略的、組織的に「自然の活用と保全」「挑戦と安全」など、来訪者の欲求と、持続性や安全性の確保を両立することが必要である。こうした攻守のバランスを高次に行っていくことで、観光以外の領域にも活力を派生させていくことを目指していく。

（２）ニセコ観光圏の将来像

これをふまえ、本地域の将来像を以下のように設定する。

１．多様な国々から、バカンス需要をもった人々が来訪している。

２．観光やその関連領域で新しい事業活動が、継続的に創造され、地域での経済循環につながっている。

３．多くの地域住民が国際的な観光地域づくりを肯定的に捉え、住み続けられる。

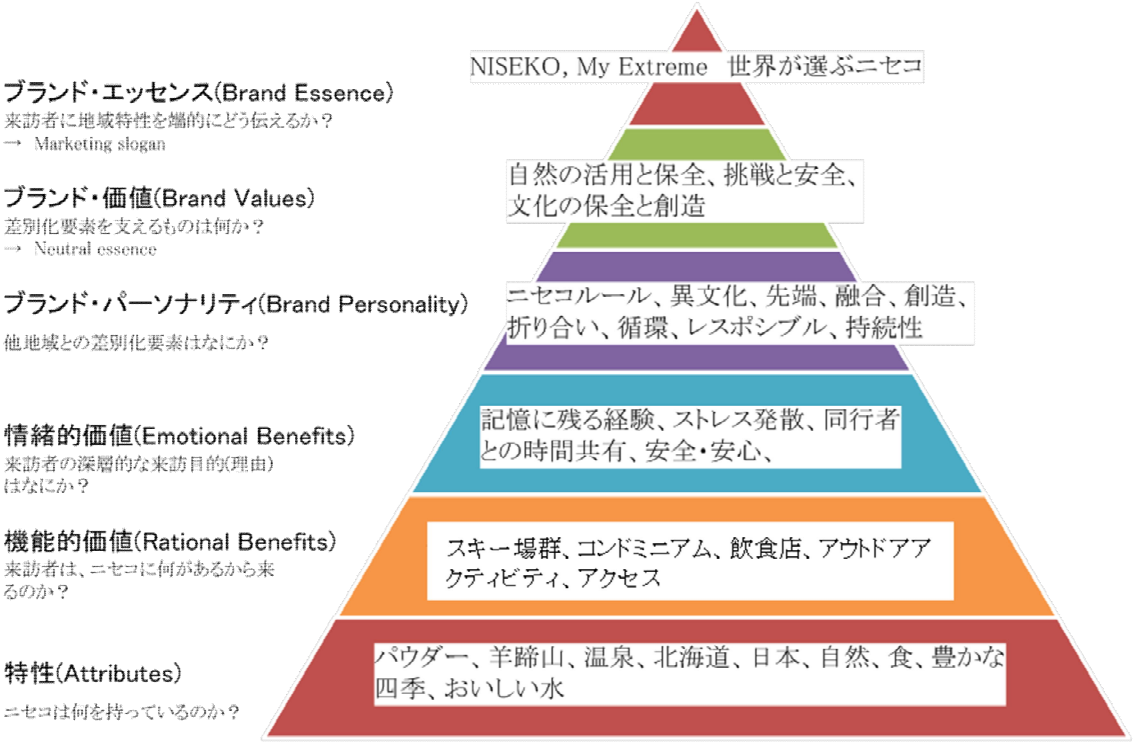
４．国際的なリゾートに相応しい空間、景観、インフラの整備が進んでいる。

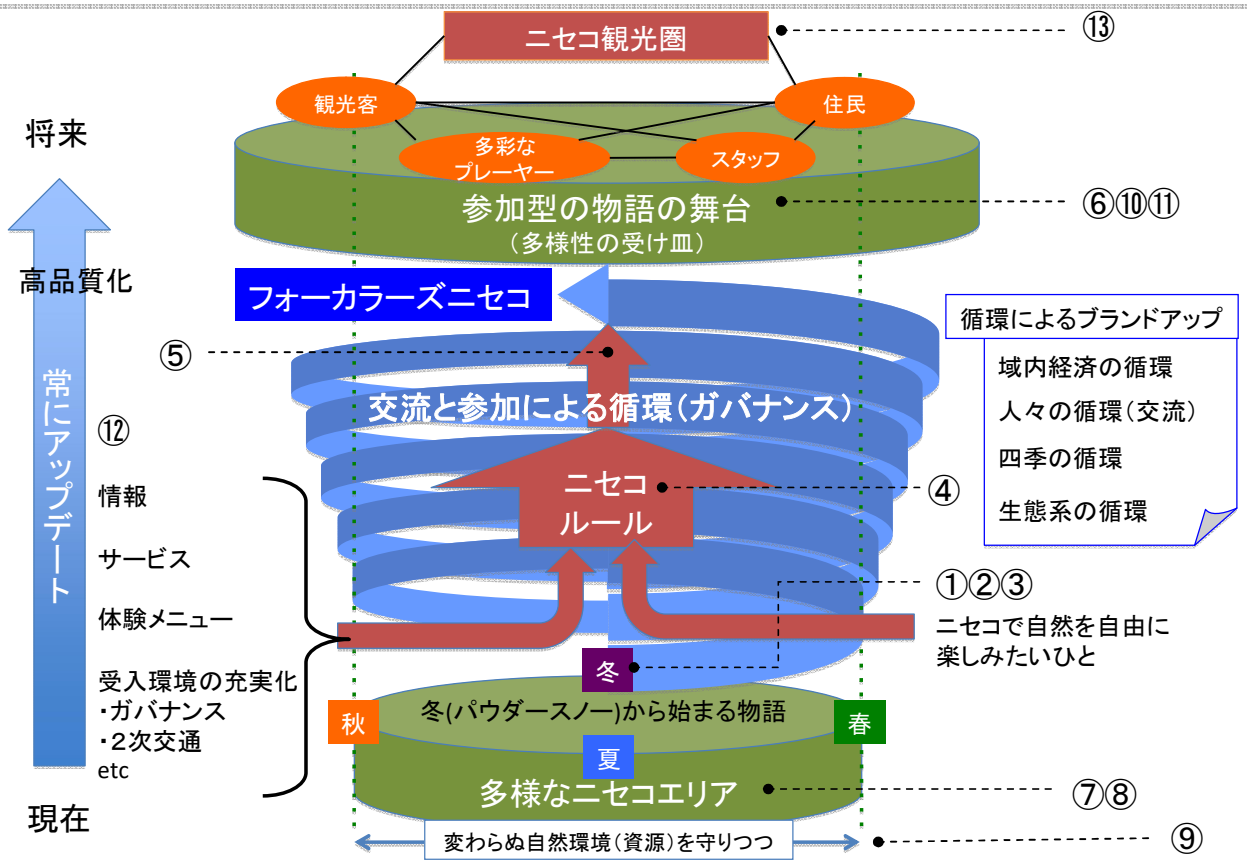
５．環境負荷の低減や、自然環境の保全と活用が明示的に進められている。

（３）ニセコ観光圏の基本方針

将来像の達成に向け、国内外の観光客を惹き付けるニセコブランドを構成する要素を、観光地ブランド構築のフレームワーク手法の１つである「6 階層ピラミッド(出典：UNWTO ハンドブック)」を用いて分類すると、以下のように整理できる。

この整理で見えるように、ニセコのリゾートとしての根源的な魅力はパウダースノーをはじめとした豊かな自然資源であり、その資源を活用するに整備された各種の宿泊施設、レジャーアクティビティである。ただ、ニセコに多様な国々から人々が集まるようになっているのは、ニセコルールに象徴される異文化との交流と折り合いが生み出す、独特のリゾート文化である。こうした折り合いを自然環境や経済分野にまで広げ“交流と参加による循環”を実現していくことで、自律的なリゾートとして品質を向上し持続的な成長を実現していくとともに将来を担う次世代へ引き継いでいく。





■戦略の根拠　① ニセコのパウダースノーは、人の生活空間と近い自然生態系で楽しめる、世界的にも希有な存在

② パウダースノーを自由に滑れる事は、ニセコにおける人と自然のあるべき姿を示している

③ パウダースノーから始まる「物語」が、環境整備のアップデートによるブランドを育てる

④ニセコルールは、自然生態系とパウダー、パウダーと人、人と人を繋ぐ「ニセコ物語」を紡ぐ

⑤ニセコルールの持続可能な仕組みを創出する事で、ガバナンスをブランドへ

⑥ニセコエリアの事業者の協力によって、ガバナンスとしてのエリアマネジメントが可能になる

⑦自然など地域資源の持続的な保全と活用に向けて、土地利用の適正な管理運営の空白をなくす

⑧ニセコ固有の自然生態系が、ガバナンスとブランドの核となっている

⑨ガバナンスによる地域資源の管理とブランドの強化を、ニセコ将来構想として明示する

⑩ 民間の起業マインドと行政の歯車が噛み合って、ニセコのスキー場の歴史が創られてきた

⑪ ニセコの自然を愛した人びとの共通の想い、多様なアプローチが、ニセコを育ててきた

⑫受入環境やサービス等のアップデートが来訪者の期待に応えることで、ブランド力は向上する

⑬ニセコエリアを一体的に融合し表現していく主体としての、広域的取組組織が不可欠

（４）ニセコ観光圏の基本戦略

１）基本方針を実現するための戦略

（ア）持続可能な観光地域づくり戦略

環境と経済に配慮した観光振興を推進することで地域住民が住みやすく地域が永続的に発展し観光客をあたたかく迎え入れ相互に良い効果を生み出すコミュニティーの形成を目指す。

（イ）インバウンド回復戦略

地域の貴重な資源である温泉や自然、スポーツフィールドと地域の歴史、文化を融合させたアドベンチャートラベルを推進することで更なる地域の魅力を外国人誘客の重要なコンテンツに成長させる。

（ウ）国内交流拡大戦略

近郊の大都市である札幌圏をはじめ、関東圏や関西圏をターゲットに設定し、当初の目的に＋もう１つのコンテンツを提案することで宿泊需要や消費額の拡大を狙うともに、本来北海道で人気の「夏」の観光需要をしっかり取り込むことで課題となっている「冬」に集中する需要の平準化を図りオーバーツーリズムの解消、季節波動に起因する人財不足等の解消に努める。

２）ニセコ観光圏の戦略を構成する、ニセコ観光圏整備計画のシナリオ

ニセコ観光圏の基本方針の実現を図るためのシナリオに沿って、施策の体系化を図り、整備実施計画との整合性を図り、事業を推進していく。そのシナリオにもとづく施策の体系は次の通りとする。

将来像	目標値	事業名
多様な国々から、バカンス需要を持った人々が来訪している	宿泊延数：国内 1,400 千人泊、海外 800 千人泊。平均泊数：国内 2.0 泊、海外 4.0 泊。	国内外でのプロモーション活動
		スポーツツーリズムの推進
		「ニセコルール」の充実化に向けた新たな制度設計
観光やその関連領域で新しい事業活動が、継続的に創造され、地域での経済循環に繋がっている	観光消費額、日本人 60 千円、外国人 250 千円。観光客満足度「大変満足：40%」、紹介意向・再来訪意向「大変そう思う：45%」	観光客満足度調査の実施・分析による新規事業の創出
		多言語案内機能の高度化
		受入環境の品質向上
		地域の観光振興を担う組織設立検討
		温泉コンテンツの活用
多くの地域住民が国際的な観光地域づくりを肯定的に捉えている	観光に、肯定的な意識を持つ人を 70%とする	住民満足度調査
		ニセコ観光圏の観光振興
国際的なリゾートに相応しい空間、景観、インフラの整備が進み、持続的活用に向けたガバナンスが充実している	（観光客満足、ロイヤルティで捕捉）	ニセコエリア公共交通網の拡充整備
		情報媒体の整備、統合、体系化と提供体制の充実化
環境負荷の低減や、自然環境の保全と活用が明示的に進められている	環境に関するサスティナブル・ポリシーを持つ事業者を過半数とする。	地域資源・環境の保全と持続的活用に向けた検討

３　ニセコ観光圏整備事業の概要

プレイヤーとなる民間事業者の取り組みを支援し、民間では対応が難しい領域を補完していく仕組みを構築していくことで連携して持続可能な観光地域づくりを実現していく。

（１）基礎的なデータの収集と公開

宿泊客数やCS、消費額といった観光地マネジメントにおいて基礎的なデータを着実に収集し、民間事業者を含む各主体へ提供し、合理的な意志決定を支援する。

○ 来訪者意識調査の実施とデータの公開
○ 経済循環及び観光振興意識の調査と検証

（２）協働事業を通じたノウハウ蓄積

地域協働で行うことが求められる事業の実施を通じて、国際的リゾートに向けた地域づくりノウハウを高めると共に、協働体制を強化する。

○ 受入環境の品質向上
○ 認定観光圏案内所の設置
○ 観光滞在プログラムの充実
○ 情報媒体の整理統合・体系化と提供体制の充実化
○ 滞在交流地区・交流地区の滞在・回遊促進（温泉コンテンツの活用・市街地交流の促進）
○ 国内外でのプロモーション活動

（３）空間と環境のあり方についての継続的協議

国際的リゾートにふさわしい空間、環境のあり方について、継続的な協議を行い、中長期的な地域づくりへとつなげていく。

○ 「ニセコルール」の充実化に向けた新たな制度設計
○ 公共交通網の整備拡充
○ 地域資源・環境の保全と持続的活用に向けた検討

○ 表示看板等のルール化の検討
○ 観光客の受入環境となる観光インフラの整備と観光DXの推進

4　ニセコ観光圏協議会に関する資料

（1）ニセコ観光圏協議会構成員等　※2023 年 5 月総会時

構成員

団　　体　　名	役 職 等	氏　　名
蘭越町	町　長	金　　秀　行
ニセコ町	町　長	片　山　健　也
倶知安町	町　長	文　字　一　志
ようてい農業協同組合蘭越支所	支所長	土　井　淳　一
ようてい農業協同組合ニセコ支所	支所長	前　田　一　彦
ようてい農業協同組合倶知安支所	支所長	永富士　昌 之 ＊
蘭越町商工会	会　長	佐　藤　義　久
ニセコ町商工会	会　長	牧　野　雅　之
倶知安商工会議所	会　頭	白　木　　茂 ＊
一般社団法人蘭越町観光物産協会	理事長	山　口　　要 ＊
株式会社ニセコリゾート観光協会	代表取締役	下　田　伸　一
一般社団法人倶知安観光協会	会　長	吉　田　　聡
一般社団法人ニセコプロモーションボード	代表理事	ｵｵﾀﾆ　ﾊﾟﾄﾘｯｸ　ｼｭﾝｼﾞ*
北海道旅客鉄道株式会社　鉄道事業本部	営業部長	森　下　　昌 ＊
北海道旅客鉄道株式会社	倶知安駅長	岩　谷　誉　仁
ニセコバス株式会社	代表取締役社長	伊　藤　正　道
倶知安町町内会連合会	会　長	佐　藤　　裕

顧問

団　　体　　名	役 職 等	氏　　名
北海道後志総合振興局	局　長	天　沼　宇　雄

観光地域づくりマネージャー

所　　属	氏　　名	備　考
(一社)蘭越町観光物産協会	佐々木　雄　三	
(株) ニセコリゾート観光協会	下　田　伸　一	
(株) ニセコリゾート観光協会	川　内　俊一郎	
(一社)倶知安観光協会	二川原　康　平	
(一社)倶知安観光協会	ラミレズ　麻衣	
倶知安商工会議所	山　本　真　也	
ニセコ町　商工観光課	鈴　木　恵　里	
(一社) ニセコプロモーションボード	長　井　　聡	
倶知安町　観光商工課	三　崎　圭　美	

（２）ニセコ観光圏協議会規約

平成２５年１２月２７日制定

第１章　総則

（名称）

第１条　この協議会は、ニセコ観光圏協議会（以下「協議会」という。）と称する。

（事務所）

第２条　協議会は、事務所を北海道虻田郡ニセコ町（ニセコ町役場庁舎内）に置く。

（目的）

第３条　協議会は、観光地相互間の連携によって観光圏を形成し、その観光の魅力の増進により国際競争力を高め、内外からの観光旅客の来訪及び滞在を促進することを目的とする。

（業務）

第４条　協議会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行う。

（１）観光圏整備計画の策定に関する業務

（２）観光圏整備実施計画に関する業務

（３）観光圏整備事業に関する業務

（４）その他協議会が定める業務

第２章　構成員等

（協議会の構成員）

第５条　協議会の構成員は、別表１に掲げる者をもって組織する。

２　前項の構成員のほかに、協議会が必要と認める者を構成員とすることができる。

（届出）

第６条　構成員は、その氏名及び住所（構成員が団体の場合については、その名称、所在地及び代表者の氏名）に変更があったときは、遅滞なく協議会にその旨を届けなければならない。

（顧問）

第７条　協議会は、顧問を置くことができる。

２　顧問は、協議会の運営に対して、助言を行う。

３　顧問の任期は２年とし、再任を妨げない。

第３章　運営等

（協議会の運営）

第８条　　協議会の役員として、会長１名、副会長２名、及び監事２名を置く。

２　役員の任期は２年とし、再任を妨げない。なお、補欠により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

３　会長、副会長は、構成員である町（以下「関係町」という。）の長の中から選出する。

４　会長は、協議会を代表し会務を総括する。

５　副会長は、会長を補佐する。
６　会長に事故がある場合は、副会長の中からあらかじめ会長が指定するものが、その職務を代理する。
７　監事は、総会において構成員の中から選出する。
８　監事は、協議会の会務及び会計を監査する。
９　協議会は、公開とする。ただし、会長が必要と認める場合は、非公開とすることができる。

（幹事会）
第９条　協議会に、業務その他協議会の運営に当たって必要な事項を処理するため、幹事会を置く。
２　幹事会の幹事は、構成町の各副町長を充てるほか、会長が構成員のうちから指名する。
３　幹事会の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が総会に諮って定める。

（事務局）
第１０条　協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。
２　事務局の事務及び運営に関し必要な事項は、関係町の長の協議を経て、会長が別に定める。

第４章　総会

（総会の種別）
第１１条　協議会の総会は、通常総会及び臨時総会とする。
２　総会の招集は会長が行い、会長が議長となる。
３　通常総会は、年１回開催する。
４　臨時総会は、会長が必要と認めたときに開催する。
５　総会は、次の事項について審議、議決する。
（１）規約の改廃に関する事項
（２）事業計画及び事業報告に関する事項
（３）予算及び決算に関する事項
（４）顧問の推挙に関する事項
（５）その他、協議会の運営に関する重要な事項

（総会の議決方法等）
第１２条　総会は、構成員現在数の過半数の出席がなければ開くことができない。
２　構成員は、総会において、各１個の議決権を有する。
３　構成員は、書面又は代理人によって議決権を行使することができる。
４　構成員又は代理人は、代理権を証する委任状を会長に提出しなければならない。
５　議決方法は、出席者の多数決とする。

（協議結果の取扱い）
第１３条　協議会において協議が調った事項については、協議会の構成員はその協議の結果を尊重しなければならない。

（議事録）

第１４条　総会の議事については、議事録を作成しなければならない。
２　議事録は、少なくとも次の各号に掲げる事項を記載する。
（１）日時及び場所
（２）構成員の現在数、当該総会に出席した委員数、委任状の枚数及び当該総会に出席した構成員の氏名
（３）議案
（４）議事の経過の概要及びその結果
（５）前４号に定めるもののほか、議長が必要と認めた事項
３　議事録は、議長及び議長が指名した２名の構成員が署名しなければならない。
４　議事録は、第２条に規定する事務所に備え付けておかなければならない。

第５章　事業計画

（事業計画）
第１５条　協議会の業務に関する事業計画は、会長が作成し、年度開始後２ケ月以内に総会の議決を得なければならない。
２　前項の事業計画を変更しようとする場合についても、同様とする。

第６章　会計

（事業年度）
第１６条　協議会の事業年度は、毎年４月１日から翌年３月３１日までとする。

（経費の支弁の方法等）
第１７条　協議会の経費は、次に掲げる収入をもって充てる。
（１）関係町の負担金
（２）その他の収入
２　前項第１号に規定する負担金のうち、協議会の運営費に係る額の負担割合は、構成町により別に定める。
３　協議会の収入、経費等の財務に関し、別途会計処理規程で定める。

（収支予算）
第１８条　協議会の収支予算は、事務局が作成し、年度開始後２ケ月以内に総会の議決を得なければならない。
２　前項の議決までの間の運営費の収入及び支出を要する事項は、会長が専決し、前項の総会に報告しなければならない。

第７章　事業報告等

（事業報告及び監査）
第１９条　会長は、毎事業年度終了後、協議会の業務に関する事業報告書を作成し、監事の監査を得て、その事業報告書を総会に提出しなければならない。

第８章　雑則

（委任）
第２０条　この規約に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、会長が総会に諮って定める。

（細則）
第２１条　協議会の事務の運営上必要な細則は、会長が別に定める。

附　則
１　この規約は、平成２５年１２月２７日から施行する。
２　平成２５年度については、第１５条及び第１８条中「年度開始後２ケ月以内に」とあるのは「第１回の」と、第１６条中「毎年４月１日」とあるのは「第１回の協議会の総会」と読み替えるものとする。

５　その他計画について

（１）国営農地整備再編事業＜ニセコ地区＞

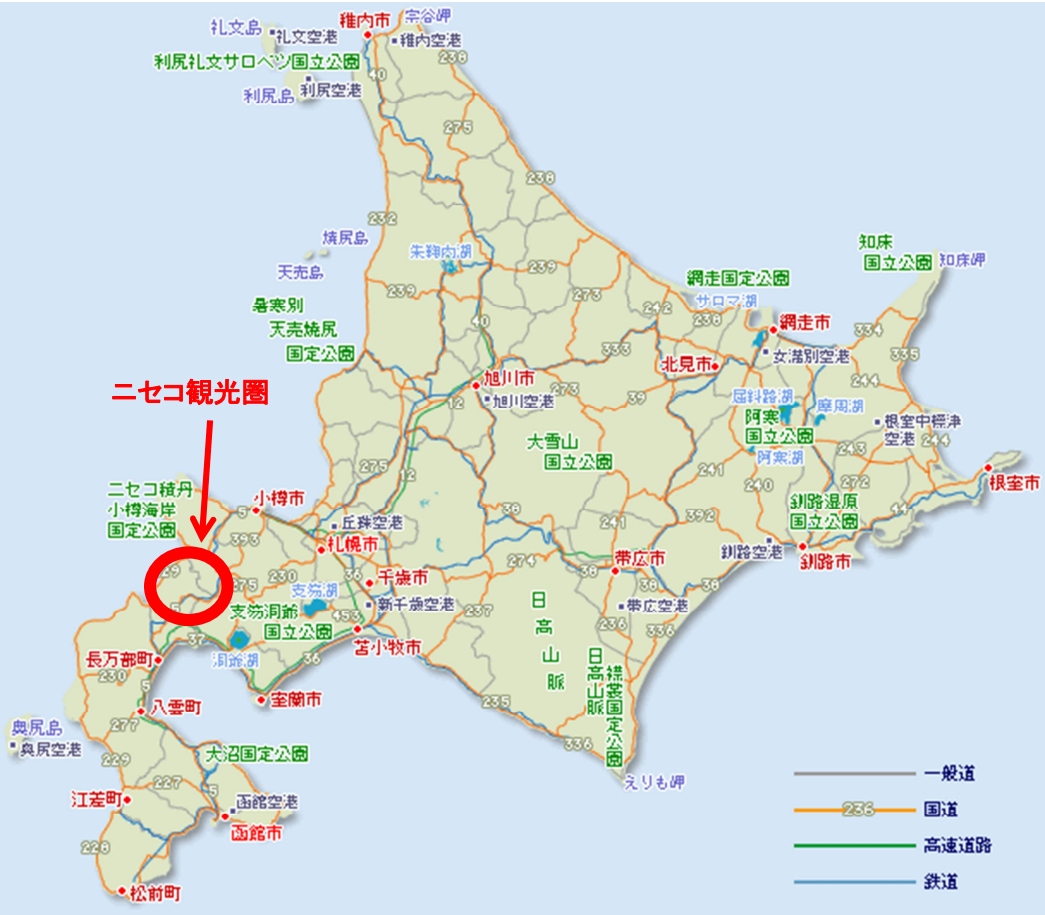
事　　業　　名	国営農地再編整備事業
実　施　主　体	北海道開発局
実　施　期　間	平成 26 年度　～　令和 9 年度
事　業　概　要	農地の土地利用を計画的に再編することにより、農業の振興を基幹とした総合的な地域の活性化を図る。
事　　業　　費	17,500 百万円※当初（国営事業）

（２）観光施設再整備等＜アンヌプリ山麓地区＞

事　　業　　名	ひらふスキー場駐車場再整備
実　施　主　体	倶知安町
実　施　期　間	未定
事　業　概　要	ひらふスキー場周辺の公共駐車場について、狭隘化による安全・安心の確保が課題となっているため、広場・交通結節点・駐車場・交流施設の諸機能を合わせた複合施設化を検討。 ・ひらふスキー場第１駐車場（町内外の観光・交流の拠点となる地域のシンボル的空間） ・ひらふスキー場第２駐車場（駐車場）
事　　業　　費	未定

6　参考資料

（1）ニセコ観光圏への国内アクセス



■ 国内主要空港から新千歳空港までの飛行時間

仙　台　空　港	1 時間 10 分	成田国際空港	1 時間 40 分
羽　田　空　港	1 時間 30 分	茨　城　空　港	1 時間 25 分
中部国際空港	1 時間 40 分	関西国際空港	1 時間 50 分
広　島　空　港	1 時間 55 分	福　岡　空　港	2 時間 10 分

■ 新千歳空港からニセコ観光圏への所要時間

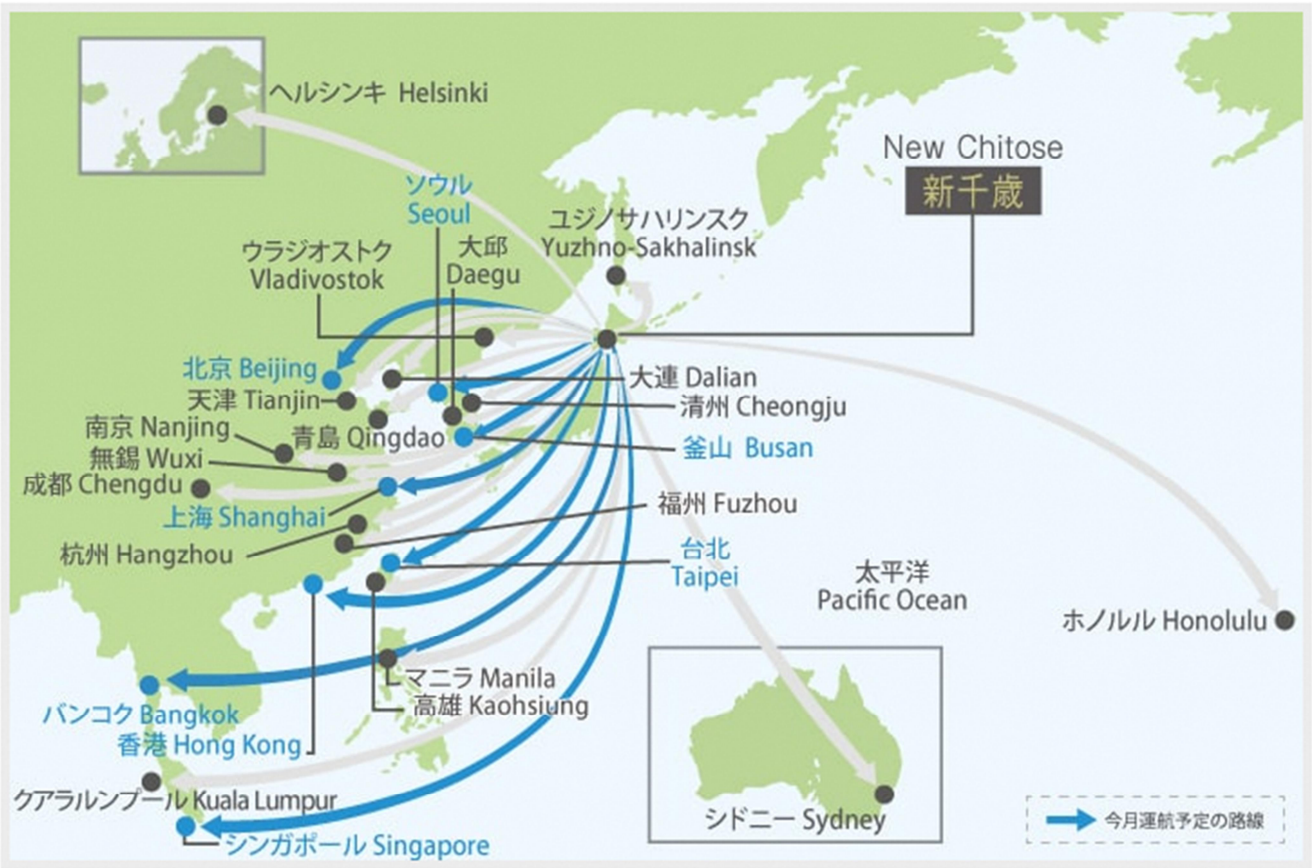
J　　R	新千歳空港　→　小樽　→　倶知安 （快速エアポート使用）	2 時間 23 分 ～ 2 時間 46 分
自　家　用　車	一般道（R276 号・美笛峠経由）を使用	約 2 時間 30 分
	高速道路（札幌・余市経由）を使用	約 2 時間 30 分
ス キ ー バ ス	一般道（R276 号・美笛峠経由）を使用 冬期間（12 月～3 月）のみ運行	約 3 時間 30 分

（２）ニセコ観光圏への海外アクセス（アジア圏・オーストラリア・ロシア・グアム）

●新千歳空港発着便　※2023 年 11 月現在

ソウル	大韓航空、アシアナ航空、ジンエアー、ティーウェイ航空、済州航空、エアプサン
釜山	大韓航空、アシアナ航空、ジンエアー、エアプサン
北京	中国国際航空
上海	中国東方航空、春秋航空
台北	チャイナエアライン、エバー航空、スターラックス航空、タイガーエア台湾
香港	キャセイパシフィック航空（日本航空）、香港航空
バンコク	タイ国際航空
シンガポール	スクート

COVID19 による航空需要の落ち込みで各航空会社とも大幅に路線を休止したが現在でも新千歳空港乗入便については運航を再開していない路線や減便、季節運航が継続している路線が多く、外国人旅行者は成田、羽田、関西空港からの経由便での来道となっている。



（３）ニセコ観光圏の観光資源

◎自然観光資源と景観

ニセコ観光圏は、支笏洞爺国立公園、ニセコ積丹小樽海岸国定公園に隣接また属し、その自然景観の多様さは国内屈指ともいえる。日本百名山に選定されている“えぞ富士・羊蹄山”と『パウダースノーの聖地』ニセコ連峰をはじめとした山系、“清流・日本一”の尻別川をはじめ多くの湖沼とそれら自然が四季折々に変化する景観はニセコ観光圏の宝であり、国内旅行客や外国人観光客を魅了する“世界ブランド・ニセコ”を作り上げる基礎的な資質となっている。

資源と分野	観光資源	観光圏の区域
山岳・高原	羊蹄山	ニセコ町・倶知安町
	ニセコアンヌプリ	ニセコ町・倶知安町
	チセヌプリ	蘭越町
	イワオヌプリ	蘭越町・倶知安町
	ワイスホルン	倶知安町
	ニトヌプリ	蘭越町・倶知安町
	モイワ山	蘭越町・ニセコ町
	目国内岳	蘭越町
	白樺山	蘭越町
	シャクナゲ岳	蘭越町
	高原の景観（パノラマライン）	蘭越町・ニセコ町
河川湖沼	尻別川	蘭越町・ニセコ町・倶知安町
	昆布川	蘭越町
	ペンケ目国内川	蘭越町
	パンケ目国内川	蘭越町
	ニセコアンベツ川	蘭越町・ニセコ町
	半月湖	倶知安町
	鏡沼	倶知安町
	シャクナゲ沼	蘭越町
	三角沼	蘭越町
	コックリ湖	蘭越町
	パンケ沼	蘭越町
	大湯沼	蘭越町

資源と分野	観光資源	観光圏の区域
森林・自然公園・花畑	昆布温泉公園	蘭越町
	よしくに自然公園	蘭越町
	曽我森林公園（東啓園）	ニセコ町
	桜ヶ丘公園	ニセコ町
	五色温泉郷お花畑	ニセコ町
	東山花の丘	ニセコ町
	アンヌプリ森林公園	ニセコ町
	百年の森公園	倶知安町
	旭ケ丘公園	倶知安町
	半月湖畔自然公園	倶知安町
	芝桜	倶知安町
	羊蹄山とじゃがいもの花	ニセコ町・倶知安町
	田園風景	蘭越町
	おいしい水（ニセコ甘露水）	ニセコ町
	羊蹄山の湧水（名水百選）	倶知安町

◎アクティビティ

今や世界的に有名になった“ニセコのパウダースノー”。しかし、ニセコを世界ブランドにしたのは、スキー・スノーボード以外にも充実した通年型のアクティビティメニューにある。尻別川でのラフティングやフィッシング、羊蹄山やニセコ山系の雄大な自然に抱かれる登山、トレッキングにキャンプ。観光客が何度も何度も足を運びたくなる“遊び”がニセコ観光圏には溢れている。また、これらのアクティビティの創造や提供が、多様な民間事業者によって自律的に取り組まれているのも本地域の特徴であり、観光客を惹き付ける魅力だけでなく地域活力の創造にも繋がっている。

資源と分野	観光資源	観光圏の区域
スキー・スノーボード	ニセコ東急グラン・ヒラフ	倶知安町
	ニセコ HANAZONO リゾート	倶知安町
	ニセコビレッジスキーリゾート	ニセコ町
	ニセコアンヌプリ国際スキー場	ニセコ町
	ニセコモイワスキーリゾート	ニセコ町
	チセヌプリスキー場	蘭越町
ラフティング・カヌー・カヤック	尻別川	蘭越町・ニセコ町・倶知安町
ハイキング	ニセコ沼めぐりコース	蘭越町・ニセコ町
	山村広場	蘭越町
	ニセコフットパスコース	ニセコ町

	尻別川リバーパーク	倶知安町
	倶知安ハイキングコース	倶知安町
フィッシング・釣り堀	尻別川	蘭越町・ニセコ町・倶知安町
	クトサン川	倶知安町
	昆布川	蘭越町
	パンケ目国内川	蘭越町
	ペンケ目国内川	蘭越町
	釣り堀	蘭越町・ニセコ町
登山	目国内岳	蘭越町
	白樺山	蘭越町
	シャクナゲ岳	蘭越町
	昆布岳	蘭越町
	チセヌプリ	蘭越町
	イワオヌプリ	蘭越町・倶知安町
	ニトヌプリ	蘭越町・倶知安町
	モイワ山	蘭越町・ニセコ町
	羊蹄山	倶知安町
	ニセコアンヌプリ	ニセコ町・倶知安町
	ワイスホルン	倶知安町
沼めぐり	コックリ湖	蘭越町
	シャクナゲ沼	蘭越町
	三角沼	蘭越町
	半月湖	倶知安町
	鏡沼	倶知安町
ゴルフ	ニセコゴルフ＆リゾート	蘭越町
	ニセコゴルフコース	ニセコ町
	ニセコビレッジゴルフコース	ニセコ町・倶知安町
	HANAZONO GOLF	倶知安町
キャンプ	ふるさとの丘キャンプ場	蘭越町
	ニセコサヒナキャンプ場	蘭越町
	湯本温泉野営場	蘭越町
	ニセコ野営場	ニセコ町
	ニセコ風の谷キャンプ場	ニセコ町
	リバーサイドヒルキャンプ場	ニセコ町

	旭ケ丘公園キャンプ場	倶知安町
	半月湖野営場	倶知安町
その他	HANAZONO ジップフライト	倶知安町
	Mountain Lights	倶知安町
	ツリートレッキング＆ツリーウォーク	倶知安町
	NAC アドベンチャーパーク	倶知安町

◎温泉

ニセコ観光圏の圏域が観光地として古くから観光客に親しまれてきたのは、“スキーと温泉”というベストマッチングされた観光コンテンツであった。『東洋のサンモリッツ』という称号も秩父宮が北海道視察の際に圏域でスキーと温泉を楽しんだ新聞記事の見出しに端を発している。

ニセコ観光圏の温泉の特徴は、各施設が独自に泉源を有するという、その泉質の豊かさにある。主な種類は塩化物泉、炭酸水素塩泉、硫酸塩泉、アルカリ性温泉、硫黄泉、単純温泉、酸性泉があり、これらは、その効能等から老若男女を問わず観光客の心身を癒している。

さらに、豊かな自然に抱かれた温泉は、本州の歴史的な温泉郷とは異なった風情を醸しだし、日本人のみならず、外国人観光客にとっても魅力ある観光資源となっている。

資源と分野	観光資源	観光圏の区域
温泉	ニセコ湯本温泉	蘭越町
	新見温泉	蘭越町
	昆布川温泉	蘭越町
	黄金温泉	蘭越町
	湯の里温泉	蘭越町
	ニセコ五色温泉	蘭越町・ニセコ町
	ニセコ東山温泉	ニセコ町
	ニセコ駅前温泉	ニセコ町
	ニセコ昆布温泉	蘭越町・ニセコ町
	アンヌプリ温泉	ニセコ町
	花園温泉	倶知安町
	ひらふ温泉	倶知安町

◎観光・物産品情報施設

ニセコ観光圏のスキー場は複数の事業者に分かれているが、以前より NISEKO UNITED として連携し、統一的、集中的な情報発信が行われている。また、現地においては、各区域に道の駅、観光情報案内所が設置され、観光客への情報案内を行っている他、物産品の販売拠点ともなっている。各施設には、外国語対応が可能なスタッフが常駐し、国際化への対応が進められている。

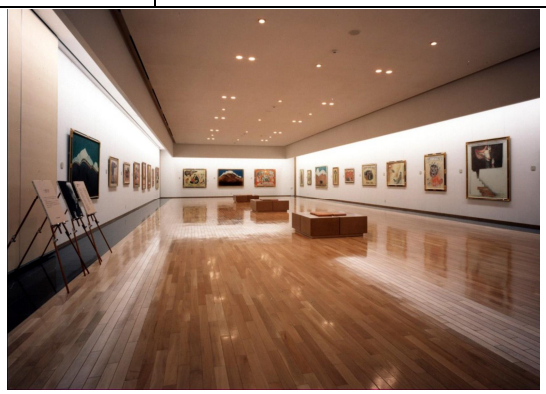
資源と分野	観光資源	観光圏の区域
道の駅	ニセコビュープラザ	ニセコ町
	らんこし・ふるさとの丘	蘭越町
	シェルプラザ・港	蘭越町
観光情報施設	観光案内センター街の茶屋	蘭越町
	ＪＲニセコ駅内観光案内所	ニセコ町
	道の駅ニセコビュープラザ	ニセコ町
	ニセコリゾート観光協会事務所	ニセコ町
	まちの駅・ぷらっと	倶知安町
	ＪＲ倶知安駅内観光案所	倶知安町
	サンスポーツランド観光案内所	倶知安町

◎芸術・文化・歴史資源

ニセコ観光圏の多様な自然資源は、アクティビティだけではなくニセコならではの芸術・文化を育み、歴史を築いてきた。現在でも、本地域はニセコに魅せられた多くの新鋭アーティストの活動拠点となっており、国際化の進捗とも関係し新しい観光魅力を創造している。また、ニセコ駅前の倉庫群の再生など開拓の歴史への注目も進んでいる。

資源と分野	観光資源	観光圏の区域
芸術・文化	ニセコ湯の里高原ギャラリー	蘭越町
	パームホール	蘭越町
	有島記念館	ニセコ町
	RAM 工房ギャラリー鐵	ニセコ町
	ニセコ焼　北穂窯　童	ニセコ町
	ギャラリー風山菴	ニセコ町
	川西硝子	ニセコ町
	小森スキー製作所	ニセコ町
	小川原脩記念美術館	倶知安町
	大仏寺天井画	倶知安町

	エスティギャラリー	倶知安町
	ＦＡＦ工房	倶知安町
	Gallery かたち	倶知安町
自然科学	貝の館	蘭越町
	倶知安風土館	倶知安町
	百年の森公園	倶知安町
歌碑・文学碑	石川啄木歌碑	倶知安町
	林芙美子文学碑	倶知安町
	与謝野晶子歌碑	倶知安町
	松浦武四郎歌碑	倶知安町
	角川源義句碑	倶知安町
	九条武子歌碑	倶知安町
	三条実美歌碑	倶知安町
	カインの末裔碑	ニセコ町



◎体験型観光資源

ニセコは多様なアウトドアアクティビティを主体とした「体験型」の観光地であるが、さらに、農業が観光産業と並ぶ基幹産業ともなっている。北海道ならではの広大な畑で自分が育てたり収穫した野菜を食べる醍醐味、そしてその経験は、国内のみならず、外国人観光客にとっても魅力的な経験となっている。また、ニセコに魅了された新鋭アーティストによるアートクラフト体験のメニューも揃えてきており、観光客の選択肢が広がっている。これらの体験プログラムは農業者やアーティストと観光客との交流を生み、「地域の人とのふれあい」という魅力も創造している。

資源と分野	観光資源	観光圏の区域
農業・酪農体験	米・果物の収穫体験	蘭越町
	野菜の収穫体験	蘭越町・ニセコ町・倶知安町
	農作業体験	倶知安町
食べ物づくり体験	生キャラメルづくり	ニセコ町
	炭火焼バームクーヘン	ニセコ町

	パンづくり	蘭越町・ニセコ町
	ジャムづくり	蘭越町・ニセコ町
	ネパールカレーづくり	ニセコ町
	ソーセージづくり	ニセコ町・倶知安町
	アイスクリームづくり	ニセコ町
	そば打ち教室	蘭越町・ニセコ町・倶知安町
	燻製づくり	ニセコ町・倶知安町
	いももち・バター作り	ニセコ町
アート・クラフト体験	ガラスづくり	ニセコ町
	リースづくり	ニセコ町
	トールペイント	ニセコ町
	香油・アロマキャンドルづくり	ニセコ町
	陶芸	蘭越町・ニセコ町・倶知安町
	クラフト	ニセコ町・倶知安町

◎体育施設・スポーツパーク・ＭＩＣＥ施設

ニセコ観光圏は多くの体育・スポーツ施設、各種会議施設があるとともに、その体育施設等を利用したスポーツ合宿、各種大会・研修会の参加者を収容する宿泊施設の両方が、コンパクトにまとまっている地域でもある。こうした集積を活かし、国際的なスポーツイベントをはじめとしたMICE誘致が進められている。

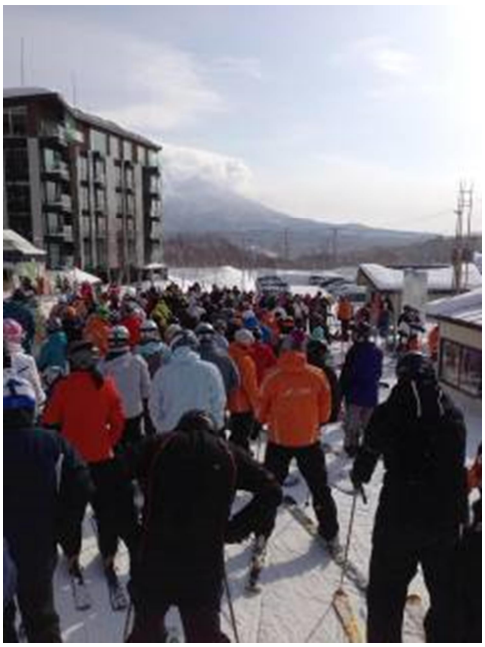
資源と分野	観光資源	観光圏の区域
体育・スポーツ合宿施設	総合運動公園野球場	蘭越町
	山村広場多目的グラウンド	蘭越町
	ニセコ町総合体育館	ニセコ町
	ニセコ運動公園多目的広場	ニセコ町
	ニセコ運動公園野球場	ニセコ町
	ニセコ町陸上競技場	ニセコ町
	総合体育館	倶知安町
	きたろくグラウンド	倶知安町
	旭ケ丘総合公園グラウンド	倶知安町
	倶知安町中央公園	倶知安町
	サンスポーツランドくっちゃん	倶知安町
	旭ケ丘スキー場	倶知安町
	尻別川リバーパーク	倶知安町
	白雲荘サッカーグラウンド	倶知安町

	ロッジコロポックルグラウンド	倶知安町
パークゴルフ場	総合運動公園パークゴルフ場	蘭越町
	昆布100年の森公園ﾊﾟｰｸｺﾞﾙﾌ場	蘭越町
	運動公園パークゴルフ場	ニセコ町
	旭ケ丘パークゴルフ場	倶知安町
プール	蘭越町民プール	蘭越町
	ニセコ町民プール	ニセコ町
テニスコート	山村広場テニスコート	蘭越町
	ニセコベアーズテニスコート	蘭越町
	町民テニスコート	ニセコ町
	ホテル甘露の森テニスコート	ニセコ町
	ミルキーハウスグリーンコート	ニセコ町
	尻別川ﾘﾊﾞｰﾊﾟｰｸﾃﾆｽｺｰﾄ	倶知安町
	泉郷テニスコート	倶知安町
	ｻﾝｽﾎﾟｰﾂﾗﾝﾄﾞﾃﾆｽｺｰﾄ	倶知安町
スポーツパーク	ニセコビレッジ	ニセコ町
	ﾛｯｼﾞｺﾛﾎﾟｯｸﾙﾃﾆｽｺｰﾄ	倶知安町
	ﾍﾟｲﾝﾄﾎﾞｰﾙﾌｨｰﾙﾄﾞﾆｾｺ	倶知安町
ＭＩＣＥ施設	らぶちゃんホール	蘭越町
	ニセコ町民センター	ニセコ町
	中央倉庫群旧でんぷん倉庫	ニセコ町
	倶知安町文化福祉センター	倶知安町
	倶知安町総合体育館	倶知安町
テレワーク・ワーケーションができる施設	ふれあいの郷とみおか	蘭越町
	ふれあいの郷ひので	蘭越町
	ニセコ町役場	ニセコ町
	ニセコ町民センター	ニセコ町
	有島記念館	ニセコ町
	ニセコ中央倉庫群	ニセコ町
	ニセコ東急グラン・ヒラフ　マウンテンセンター″タンタ・アン″	倶知安町

◎サイクルツーリズム（ロードバイク・ＭＴＢ）

ニセコアンヌプリと羊蹄山を擁し、また、広大な農業地帯の先は尻別川を通じて日本海へ至るという地勢を持ったニセコ観光圏は、長距離を疾走するロードバイクにも、また、自然の起伏に挑むMTB双方のサイクリングに好適な環境であり多くのコースが整備されている。また、自然環境だけでなく、サイクリングのツアーガイド・事業者も複数が活動しており、関連するイベントも開催され、グリーンシーズンの本地域の魅力を構築しつつある。

資源と分野	観光資源	観光圏の区域
ロードバイク	倶知安ポテトコース	倶知安町
	尻別川コース	倶知安町
	ニセコ農道コース	ニセコ町
	JINベーカリーコース	ニセコ町　→　圏外
	羊蹄山一周コース	倶知安町・ニセコ町　→　圏外
	五色温泉コース	蘭越町・ニセコ町・倶知安町
	ニセコ洞爺湖コース	ニセコ町　→　圏外
	昆布洞爺湖コース	蘭越町　→　圏外
	尻別川海までゆったりコース	ニセコ町、蘭越町
ＭＴＢ・フロートレイル	比羅夫コース	倶知安町
	尻別川コース	倶知安町
	ニセコ東急グラン・ヒラフ	倶知安町
	アンヌプリコース	ニセコ町
	東山コース	ニセコ町



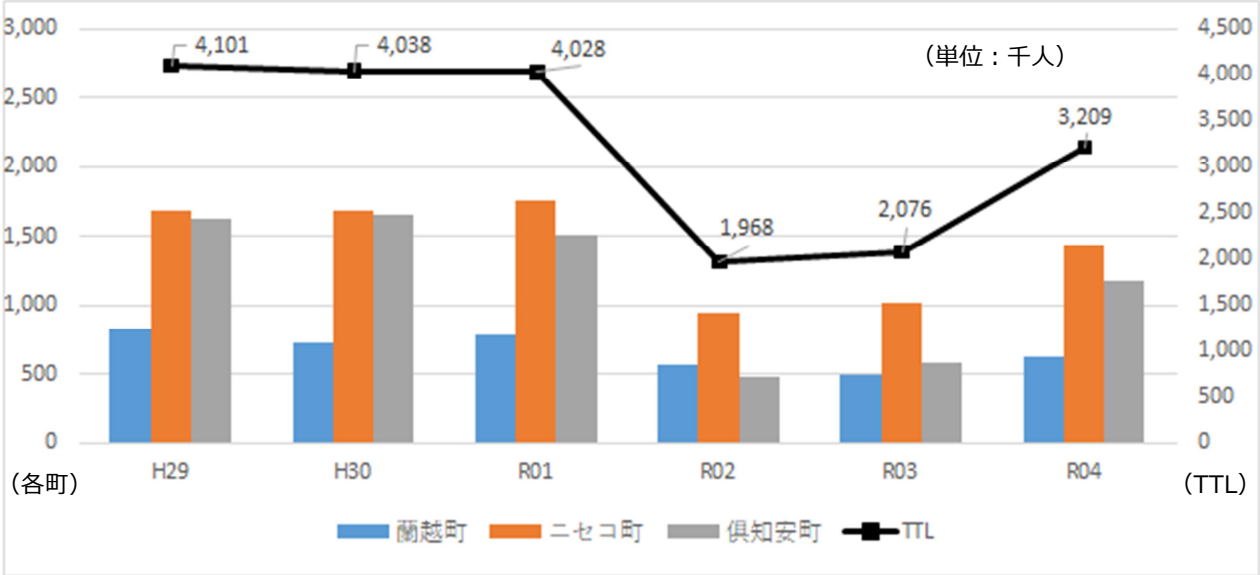
（右図）

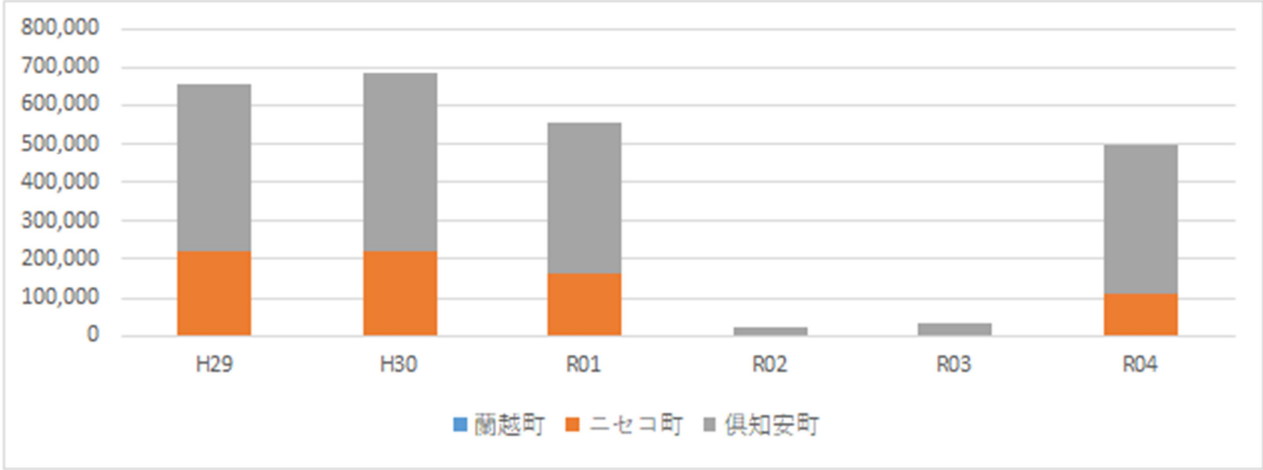
リフト乗り場に並ぶ多くの外国人観光客（H25年２月）

（４）ニセコ観光圏の観光客入込み数

① ニセコ観光圏の国内観光客の入込数　　（単位：千人）

	圏域	H29	H30	R01	R02	R03	R04
ニセコ観光圏	蘭越町	814	723	782	564	491	609
	ニセコ町	1,672	1,668	1,753	940	1,008	1,428
	倶知安町	1,614	1,647	1,493	464	577	1,172
	TTL	4,101	4,038	4,028	1,968	2,076	3,209



② ニセコ観光圏の外国人観光客の宿泊者延数　　（単位：人）

	圏域	H29	H30	R01	R02	R03	R04
ニセコ観光圏	蘭越町	1,021	650	217	0	3	260
	ニセコ町	218,505	217,181	160,084	183	77	107,447
	倶知安町	433,685	464,969	391,609	20,925	29,733	384,529
	TTL	653,211	682,800	551,910	21,108	29,813	492,236